

國學院大學經濟學部

令和 8 年（2026 年）度開講

「演習Ⅱ」(ゼミ)

募集要項

対象：経済学部新 3 年生（編入生）



※演習Ⅰに関するお知らせは大学HP上でも確認して下さい。

國學院大學 経済学部 教務委員会

①令和8年度「演習Ⅱ」募集予定教員

教員により、受け入れる学科・コースが指定されています。経済学科のみのコースを指定している演習には、経営学科の学生は応募できません。また、経営学科のコースのみを指定している演習には、経済学科の学生は応募できません。演習に合格した際は、教員が指定(○)するコースのいずれかを選択することが条件となります(「コース指定なし」の演習を除く)。

	経済学科					経営学科			指定 なし
	経済理論とデータ分析コース	経済史コース	地域経済コース	日本経済コース	グローバル経済コース	ビジネスリーダーシーコース	ビジネスクリエイターコース	ビジネス アナリストコース	
大西祥恵									○
小木曾道夫									○
尾近裕幸									○
尾崎麻弥子		○			○			○	
尾田基						○	○	○	
小野正人						○	○	○	
木村秀史				○	○		○		
斎藤誠	○			○				○	
櫻井潤			○	○		○			
東海林孝一									○
鈴木智之						○	○	○	
杉山里枝									○
高木康順									○
高橋克秀									○
田原裕子									○
中馬祥子									○
手塚貞治									○
中田有祐	○					○		○	
根岸毅宏			○	○		○			
芳賀英明	○					○	○		
濱田高彰	○			○				○	
林行成									○
藤山圭	○						○	○	
星野広和									○
細井長					○	○			
細谷圭	○			○				○	
堀江優希						○	○	○	
水無田氣流			○	○			○		
宮下雄治									○
山本健太			○	○		○			
吉野真治	○					○		○	

② 応募手順

経済学部では3年次に専門応用科目『演習ⅡA』『演習ⅡB』(ゼミ:4単位)が開講されます。この科目は少人数のゼミナール形式で授業を行うため、事前に担当教員の選考を受け、合格した学生のみが履修できます。

選考は課題と面接（Zoom面接、ゼミによって行うゼミと行わないゼミがあります）等にて行います。受講を希望する学生は、「演習Ⅱ（編入学者）選考方法一覧」(PDFファイル)を熟読のうえ、所定の期日までに応募してください。

1. 応募方法

下記必要書類の① **webアンケートフォーム**で回答してください。

下記必要書類の② ホームページに「**演習Ⅱ（編入学者）選考方法一覧**」(PDFファイル)があるので、そちらにアクセスして選考方法や課題等を確認してください。

メールでの提出が指定の場合、当該教員へ直接メールで提出してください。

郵送での提出が指定の場合、次の宛先まで郵送してください。

郵送先 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

國學院大學 教学事務部教務課 経済学部ゼミ担当 宛 (封筒左下に)「応募書類在中」と記載。

【応募期間】令和8年1月7日(水)～1月15日(木)正午

※郵送での提出の場合、1月14日(水)必着

▼ 必要書類

①応募方法 (webアンケートフォームに回答)

・経済学部『演習Ⅱ』応募フォーム（令和8年度編入生用）。もれなく入力してください。

②選考課題

・リポートには表紙をつけ、(1)経済学部『演習Ⅱ』応募リポート・志望ゼミの教員名

(2)「出身短大名（学士の場合は出身大学名）、(3)「氏名」を明記すること。

2. 合否結果について

1月下旬（予定）にお知らせします。

3. 応募上の注意

①経済学部『演習ⅡA』『演習ⅡB』(ゼミ:4単位)は3年次開講の選択科目です（必修科目ではありません）。但し、少人数のゼミナール形式のため、履修できるのは選考の合格者のみです。

②複数の教員を併願することは出来ません（両方とも無効となります）。必ず志望する教員を1人だけ選んで応募してください。

③合格後の辞退はできず、3年次の履修に際しては合格したゼミが自動的に履修登録され、取り消しはできません。

④『演習ⅡA』と『演習ⅡB』の単位修得者のみ、4年次に同一教員の「演習Ⅲ（卒業論文）A」、「演習（卒業論文）B」を継続して履修することができます。詳しくは、開講パターンにて確認してください。

お問い合わせ先

國學院大學教学事務部教務課

TEL 03-5466-0135

③ ゼミナールに入ろう

経済学部 教務部委員
木村 秀史

この募集要項では各ゼミの活動内容や特徴を紹介します。きっと皆さんが学びたい分野のゼミが見つかると思います。みなさんがこの要項を熟読のうえ、自分に最もマッチしたゼミについてよく研究し、ひとりでも多くの学生が応募・合格してくれることを期待しています。

(1) ゼミとは？

ゼミナール（ゼミ）は大学で専門的に学んでいく上で、また自分にあった学修を行う上で、講義とは異なる少人数かつ双方向の教育が受けられる演習形式の授業であり、重要かつ貴重な学びの機会です。また、学生同士だけでなく学生と教員がコミュニケーションを取りながら一緒に上り上げる最も大学らしい場所です。私たちはひとりでも多くの学生に自分に相応しいゼミに入り、ゼミの仲間や教員と一緒に議論・討論してほしいと切に願います。自分の意見や考えを発表したり、多様な意見や価値観を聴いたり討論することはみなさんの学びをより深いものとし、就職活動（面接だけでなく集団討論のときも）やその後の職業生活にも大いに役立つことでしょう。みなさんが積極的かつ意欲的にゼミに応募することを期待しています。

後述するように、ゼミの開講パターンや開講時期、学生数や活動内容は様々ですが、一般的にゼミの特徴は次のように説明できます。

- ① 講義形式ではなく、**学生と教員が討論し合いながら一緒に内容をつくりあげる少人数の演習系科目（専門応用科目）**です。ゼミによって一学年の人数がまちまちですし、他学年と合同で実施するゼミと学年ごと実施するゼミがあります。
- ② ゼミの内容は各ゼミによって異なりますが、主な内容としては、(1)テキストを決めレジュメを作成して分担報告しながら精読する輪読、(2)学外のビジネスコンテストなど各種コンテストへの参加・発表、(3)テーマを決め、個人あるいはグループで研究する論文作成、(4)グループディスカッションやプレゼンテーション、(5)ディベート大会、(6)ゼミ合宿、(7)ゼミ成果発表会や合同ゼミなど学部ゼミ間の交流、(8)新歓・暑気払い・忘年会などのコンペ、(9)工場見学や企業見学、(10)OB・OG会などがあります。ゼミによって多彩ですので興味のあるゼミの活動をよく調べてください。
- ③ 講義科目とは異なって、ゼミでは学生同士および学生と教員の間での双方向のコミュニケーションが広く深く行われます。
- ④ ゼミに入るためには、ゼミ毎に行われる選考で合格しなければなりません。合格すれば「**演習ⅡA**」からゼミに所属することになります。ただし、一度希望するゼミに合格したら、合格を辞退したり、別のゼミに応募し直すことはできません。

(2) 開講形態

ゼミは2年後期からはじまっています。原則、すべてのゼミが卒業までに、以下に挙げる5つの科目が開講されます。皆さんは**②「演習ⅡA」**から加入することになります。

- | |
|----------------------|
| ①「演習Ⅰ」(2年後期) |
| ②「演習ⅡA」(3年前期) |
| ③「演習ⅡB」(3年後期) |
| ④「演習Ⅲ(卒業論文) A」(4年前期) |
| ⑤「演習Ⅲ(卒業論文) B」(4年後期) |

卒業要件に含まれる単位数は、全てのゼミ「8単位」となります（これ以上の単位は卒業要件の単位には含まれません）。

また、すべてのゼミで「卒業論文が必修」です。

また、ゼミによって、上記の科目とセットで開講されるサマーセミナー、スプリングセミナーがあります。サマーセッション、スプリングセッションの開催有無については、それぞれのゼミの紹介ページの冒頭部分に明記されています。

なお、上記科目は自動登録されます。学生の都合で登録を取り消すことはできず、合宿に参加しなかったりゼミ論文を提出しなかったりした場合はDまたはRの評価となります。

通常	演習Ⅰ	演習ⅡA	演習ⅡB	演習Ⅲ (卒業論文) A	演習Ⅲ (卒業論文) B
開講時期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
単位	2	2	2	2	2

(3) ゼミの選び方

ゼミによって活動内容や開講形態は様々ですから、ゼミの課題や学習内容、ゼミ（先生）とのかかわり方、つきあい方も変わってきます。各ゼミの内容や特徴をよく理解し、自分にあったゼミを選ぶことが大切です。その際、次の点を考慮しましょう。

- ① 自分の勉強したい「テーマ/分野（興味・関心）」に合致しているか考えましょう。
ゼミのテーマ、教員の専攻/研究分野が自分にあってるかどうかは最も大切なことです。
- ② ゼミの活動内容ができる限り詳しく知って選びましょう。
- ③ 前述したように、サマーセッション、スプリングセッションを行うゼミやないゼミ、

開講形態にも十分に考慮してください。

- ④ 担当教員とのコミュニケーションは、大学で学ぶ上でも学生生活や将来を考える上でも、みなさんにとって貴重な機会となるでしょう。2年の間、一緒に勉強する教員についてもできる限り情報を集め、ゼミ選考の参考にしましょう。教員については、國學院大學 HP の経済学部のサイトにある「専任教員の紹介」でも知ることができます。

(4) 応募にあたっての注意

- ① **各ゼミで受け入れる学科・コースが指定**されています。多くのゼミが経済学科、経営学科どちらの学生も受け入れが可能となっていますが、経済学科の学生のみ、経営学科の学生のみという演習も少数ですがありますので注意してください(1ページを確認してください)。
- ② 演習に合格したら、その**演習（教員）が指定するコースを必ず選ばなくてはいけません。**
- ③ 各ゼミで「修得済み科目」、「履修しておくことが望ましい科目」が記載されていますが、こちらは編入生の皆さんには該当しません。
- ④ **ゼミの選抜に合格した後で、合格を辞退することはできません。**
- ⑤ 合格した時点で「演習ⅡA」(サマーセミナー、スプリングセミナーを開講するゼミについてはそれらの科目も含む)が**自動的に履修登録**されます。ゼミの合格を放棄してもこの時間には他の科目を履修することができません。

【一括登録の注意点】

ゼミは**合格すると「演習ⅡA」以降の全ての演習科目が開講パターンに応じて一括登録（サマーセミナー、スプリングセミナーも含む）されます。**「演習ⅡA」の単位を修得し、「演習ⅡB」以降の履修を取り消そうとしても今回の合格時に全ての演習科目が登録済みです。履修修正でも取り消せません。年次履修上限の**42**単位に含まれます。そのため、「演習ⅡB」の時間帯に他の科目を履修することもできません。なお、成績評価で**不合格（D または R）である場合、以降については、以降の科目の自動登録が消去されます。**

(5) 問い合わせ先

不明な点や質問等があれば、経済学部教務部委員、木村秀史 (s-kimura【at】kokugakuin.ac.jp)まで連絡して下さい (【at】は@に代えてください)

④ 選考方法一覧

ホームページに「演習II（編入学者）選考方法一覧」(PDFファイル)があるので、そちらにアクセスして選考方法や課題等を確認してください。

※1 教員により提出方法が違うので、よく確認する事。締切日以降の到着分は、一切受理しません。

※2 書式について記述がない場合は、任意（自由）です。

※3 課題には必ず表紙をつけること（氏名・希望教員名・タイトル・出身短大名・大学名等を明記のこと）

⑤ 教員の連絡先一覧

教員名	メールアドレス	備考
大西 祥恵	yoshie-o_at_kokugakuin.ac.jp	
小木曾 道夫	ogiso_at_kokugakuin.ac.jp	
尾近裕幸	okon_at_kokugakuin.ac.jp	
尾崎 麻弥子	mayaozaki_at_kokugakuin.ac.jp	
尾田基	hoda_at_kokugakuin.ac.jp	
小野 正人	masaono_at_kokugakuin.ac.jp	
木村 秀史	s-kimura_at_kokugakuin.ac.jp	
齊藤 誠	makotosaito_at_kokugakuin.ac.jp	
櫻井 潤	jsakurai_at_kokugakuin.ac.jp	
東海林 孝一	shoji_at_kokugakuin.ac.jp	
杉山 里枝	rishi_at_kokugakuin.ac.jp	
鈴木 智之	suz_at_kokugakuin.ac.jp	
高木 康順	takagi_at_kokugakuin.ac.jp	
高橋 克秀	taka8664_at_kokugakuin.ac.jp	
田原 裕子	yatahara_at_kokugakuin.ac.jp	
中馬 祥子	chuma_at_kokugakuin.ac.jp	
手塚貞治	tezuka.sadaharu_at_kokugakuin.ac.jp	
中田 有祐	nakata_yusuke_at_kokugakuin.ac.jp	
根岸 毅宏	negishi_at_kokugakuin.ac.jp	
芳賀 英明	hhaga_at_kokugakuin.ac.jp	
濱田 高彰	hamada_at_kokugakuin.ac.jp	
林 行成	y-hayashi_at_kokugakuin.ac.jp	
藤山 圭	k.fujiyama_at_kokugakuin.ac.jp	

星野 広和	hoshino-h_at_kokugakuin.ac.jp	
細井 長	hosonaga_at_kokugakuin.ac.jp	
細谷 圭	khosoya_at_kokugakuin.ac.jp	
堀江 優希	yuki.horie12_at_gmail.com	
水無田 気流	kiriuminashita_at_kokugakuin.ac.jp	
宮下 雄治	y.miyashita_at_kokugakuin.ac.jp	
山本 健太	kenta_at_kokugakuin.ac.jp	
吉野 真治	yoshino_at_kokugakuin.ac.jp	

※_at_は「@」に置き換えてください。

※教員にメールを送る際は、大学の@kokugakuin.ac.jp のメールアドレスから送るか、またはメールの件名を明確に記載してください。

⑥募集ゼミ内容紹介

大西 祥恵ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			社会政策論	労働経済
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B				

※「履修しておくことが望ましい科目」はゼミ加入後に履修するのでも可

3年（男）	8人	3年（女）	3人	4年（男）	13人	4年（女）	4人
-------	----	-------	----	-------	-----	-------	----

(1) テーマ

「労働市場において不利な立場にある人々の実態とそれに関連する社会政策」

このゼミでは、労働市場において不利な立場にある人々に焦点を当て、それらの人々がなぜ不利な立場にされているのかを考えることで日本社会や労働市場の構造について考えていきます。不利な立場にある人々の視点から日本社会や労働市場をとらえることで、ふだん見過ごされてしまいがちなさまざまな課題が浮き彫りになってきます。そして、これらの課題を少しでも改善していくためにはどのような社会政策が考えられるのかについて検討していきます。

こうした研究は、私たちの生活する日本社会の現実について理解を深めることにつながるでしょう。

(2) キーワード

「労働」、「失業」、「社会政策」、「貧困」、「社会的排除」、「マイノリティ」

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミへ応募をされる場合、原則として以下に書かれているゼミでの学修に参加することに合意したものとみなします。合意されない場合、ゼミへの応募はできません。ゼミで勉強のために実施される取り組みには、原則参加できることも応募の条件とします。

勉強以外にも大切なことはたくさんありますが、とはいっても大切なことですので、ゼミでの学修を希望されるなら、勉強に多くの時間をさいていただく必要があります。

「講義型科目の履修」

教員が担当している講義型の科目で議論されることは、ゼミでの学びと深い関係があります。そのため、「社会政策論」、「労働経済」は履修してください。

「演習Ⅰ」(2年生後期)

文献などの課題をゼミ生で分担して報告してもらい、それを受けたディスカッションを行います。また、ゼミ成果発表会に参加し、グループでの共同研究を行っています。ゼミでの勉強が1人で行う勉強と違うのは、ゼミ生同士での話し合いを通して気づかされることがあったり、1人ではいきつかなかった結論にたどりついたりすることではないでしょうか。ゼミでの勉強を通して自身のテーマを決め、それについて調べたことをレポートにして提出してもらいます。

「合宿」(3年生の夏休みを予定、サマセではありません)

合宿という形で、学外に学びに出ます。そこで学んだことを振り返って、その後の研究に活かしてもらいます。2023年度、2024年度は群馬県の富岡製糸場(世界遺産)に行き、戦前の工場労働について考えました(事情によって春休みに行った年度もあります)。

「演習ⅡA・B」(3年生)

自身のテーマについての個別研究を進めてもらい、ゼミで報告してもらいます。そしてどういう問い合わせ立てて研究を深めていけばいいのかについて、ディスカッションを行います。先行研究に学びながら自身の研究の問い合わせを絞り込んでいきます。それらの研究成果をレポートにして、提出してもらいます。また、社会の現実について学ぶために、フィールド・ワークを行うこともあります。2023年度、2024年度は川崎市ふれいあい館にて在日コリアンの方々やニューカマーの子どもたちを取り巻く現状、さいたま市障害者総合支援センターで障害者雇用について勉強させていただきました。

「演習ⅢA・B」(4年生)

自身の問い合わせに対して、論証の方法を考え結論を導き出していくよう、さらに検討を加えていきます。そしてそれを卒業論文にまとめています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

提出締切: 1月下旬、2年後期「演習Ⅰ」2000字以上、3年後期「演習ⅡB」4000字以上

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

先輩たちの就職先として IT 関係、流通、運輸、建設、不動産、販売、保険、メーカー、公的法人、公務員などがあります。とくに傾向があるわけではありませんが、それぞれに自身の将来のことを真剣に考えて進路を決定していきました。就職にかんしては、実際に働いてみないとわからないことがあることをわかったうえで、大学を卒業する時点で自身はどうしてみたいのかを考える必要があります。そのためにはまずは自身についてできるだけ客観的にとらえることと、社会にはどのような活躍の場があるのかをしっかり学ぶのが大事なように思います。

(6) 教員について(自己紹介等)

大学生のころからの自分の生活する社会はどんなところなのかを詳しく知りたいという気持ちが原動力となって、研究を続けています。労働市場において不利な立場にある人々にかかわることで、それまで気づけなかったさまざまな課題の存在を知ることになり、夢中で取り組んできて現在に至りました。いろいろな現場におうかがいしてきましたが、とりわけ被差別部落の方々や寄せ場の日雇い労働者の方々には多くのことを学ばせていただきました。

30代半ばまで大阪にいたので、関西の言葉のイントネーションが目立つかもしれません。実はその後、福岡の大学に5年ほどいましたので、北部九州のイントネーションも入っています。



小木曾 道夫ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
—	—	—	—	—

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A				
コンピュータと 情報I	基礎演習B				

3年(男)	12人	3年(女)	3人	4年(男)	12人	4年(女)	1人
-------	-----	-------	----	-------	-----	-------	----

(1) テーマ

組織と集合行動の自己生産

(2) キーワード

組織、集合行動、自己生産

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期の「演習Ⅰ」では、バーナード著 山本安次郎・田杉競・飯野春樹訳(1968)『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社、の、のちの組織研究に影響を与えた部分を選んでの精読する文献講読演習を行う。つまり、「演習Ⅰ」と言っても現行のカリキュラムには無い「基礎演習C」のような内容である。「演習Ⅰ」の到達目標は文献講読報告ができ、文献講読レポートが書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートで他者が著作権を持つ文字列を引用できること、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行年・3.書名・4.出版社を正確に記述できることを含む。

3年の「演習ⅡA・B」と4年の「演習ⅢA・B」では各自研究テーマを決めて、研究課題は、(外部の組織から受動的に与えられるのではなく、)ゲーム以外のテーマから受講者が自ら能動的に決定して、研究演習を行う。「演習ⅡA・B」の到達目標は研究報告ができ研究論文が書けるようになることで、「演習ⅢA・B」の到達目標は、社会科学の研究論文が書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行 or 更新年(月日)・3.書名 or タイトル・4.出版社 or URL を正確に記述できること、および、報告およびレポートで、5.自分の意見や考え・または・著作権者を特定できない情報と、他者が著作権を持つ情報とを区別し、6.他者が著作権を持つ情報の出典を引用または参照という方法で巻末の参考文献リストと照合して明記すること、を含む。

3年の「演習ⅡA・B」は、まず、報告者が各自が決めた研究テーマに基づく報告をして、質疑応答に引き続き、4人程度のグループで今後の報告者の研究の参考になりそうな点についてブレインストーミングを行う、という内容です。前期の「演習ⅡA」は各自の問題意識について報告する段階です。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

「演習Ⅰ」では学期末締切で字数自由の文献購読レポート

「演習ⅡA・B」と「演習ⅢA」では学期末締切の研究レポートを課し、字数のベース配分目標は「演習ⅡA」が4000字、「演習ⅡB」が8000字とする。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

業種の傾向はありません。過去、北関東地域の実家から通勤可能な勤務地限定の職掌への就職希望者は100%就職が決まっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

教員について

小木曽はゲームとギャンブルについて無知であるため、ゲームまたはギャンブルを研究テーマしたい学生に対して、充分な論文指導ができません。

(7) その他

小木曽ゼミは、研究成果であるゼミ卒業論文の質を分子、(ともに実施しないゼミ合宿とサブゼミを含む)拘束時間を分母とする、研究成果労働生産性が高いゼミです。過去の4年生のゼミ卒業論文・ゼミ論などはゼミ HPを参照してください。

なお、経済学会学生委員の立候補者がいなかったため、学生委員会主催の「演習Ⅰ」募集には参加していません。

尾近裕幸 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	経済理論入門		ミクロ経済Ⅰ	マクロ経済Ⅰ
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B			ミクロ経済Ⅱ	マクロ経済Ⅱ

3年男	6人	3年女	0人	4年男	0人	4年女	0人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

ミクロ経済学の学習を踏まえた経済・経営に関する課題の発見と研究

(2) キーワード

経済数学、ミクロ経済学、英語

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

経済数学とミクロ経済学をはじめ、経済に関する問題・課題を発見し明確化するための様々な道具を学び、それを使って研究し論文を作成します。

演習では「学び続ける力」の涵養を大きな目標として、「言語化能力」「可視化能力」等の汎用的な能力の向上に重きをおいて活動してゆきます。

2年次は、以下の本でミクロ経済学を学ぶ場合に有用な経済数学の学習をします。

Alpha C. Chiang and Kevin Wainwright, Fundamental Methods of Mathematical Economics, International Edition, 2005. (日本語翻訳も適宜参照します。)

3年次前期は、以下の本を熟読しながらミクロ経済学を学びます。

神取道宏『ミクロ経済学の力』日本評論社、2014年

3年次後期以降は、受講生と相談の上で学習する本を決定します。

なお、研究論文は LaTex を使って作成しますので、水谷正大『LATEX 超入門』（講談社ブルーバックス、2020年）等を各自で学習してもらいます（難しいものではありません）。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3 年次および 4 年次に研究論文を作成します。3 年次および 4 年次に、受講生が提出した研究論文を集めた論文集を作成します。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

様々な業種・職種の企業に就職しています。大学院に進学した人もいます。

(6) 教員について(自己紹介等)

今年度は「経済学史入門」「経済理論入門」「日本の経済」「ミクロ経済 I」「ミクロ経済 II」の科目を担当しています。

(7) その他

人として常識ある行動ができ、礼儀正しく、思いやりがあり、快活明朗で、真摯に学び続けながら自分自身を成長させたいと本気で考えている学生を希望します。

尾崎 麻弥子ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			経済史入門	
コンピュータと 情報I	基礎演習B				

3年男	15人	3年女	1人	4年男	13人	4年女	1人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ

西洋（ヨーロッパ、アメリカ）の広い意味での経済（経済活動にまつわることすべて。生産・流通・消費）から歴史的な視点で我々の今の生活を見直す。

(2) キーワード

ヨーロッパ、アメリカ、歴史、世界、経済

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

はじめに各人が興味のあるテーマを事前に考えてもらいます（仮というか何となくの関心で構いません）。テーマ自体は歴史的なものでも現代のものでも構いませんが、現代のものを選んだ方もできるだけ歴史的な視点から見るようにということを考えてください。調べる熱意があれば特に詳しい知識は必要ありませんが、日本史・世界史のかなりおおまかな流れは頭に入っていたほうが良いです。2年時にはそれに関するディベート、ディスカッションをおこない、並行して卒論に関する説明と注意点について話し合い、論文の書き方について勉強します。3年時にはそのテーマについてさらに討論し、夏休み前から本格的に卒論執筆に入ってもらいます。3年生ではほぼ卒論完成という状態にしておいて、4年生の就職活動に臨んでください（面接などで役に立ちます）。下の学年のゼミにも参加してもらうがあるので、来年度以降のことですが、ゼミの曜日には後ろにアルバイトなどを入れないようにしてください。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

卒業論文の準備として3年生である程度の形を決めてもらいます。4年の前半は就職活動で頭がいっぱいになるので、むしろ3年生のうちに書き上げるくらいの勢いで準備します。本来経済史とは歴史的な一次史料を使用して研究をするのですが、日本でそれをやるのは大変難しいので、基本的には文献やインターネットから拾えるデータなどを利用することになります。テーマは基本的には欧米の歴史（20世紀などの近い歴史でもOKです）に限られますが、強い熱意があればそれ以外でも可にしています（ただしその場合できる指導には限りがあります。）ただしレポートではないので、つねに「なぜEUは現在うまくいかなかったのか」などの（少しテーマが大きすぎますが）疑問点を最初に提示して、それについて複数の文献を使って「分析」を行ってください。直接データを使用して分析できればなおいいです。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

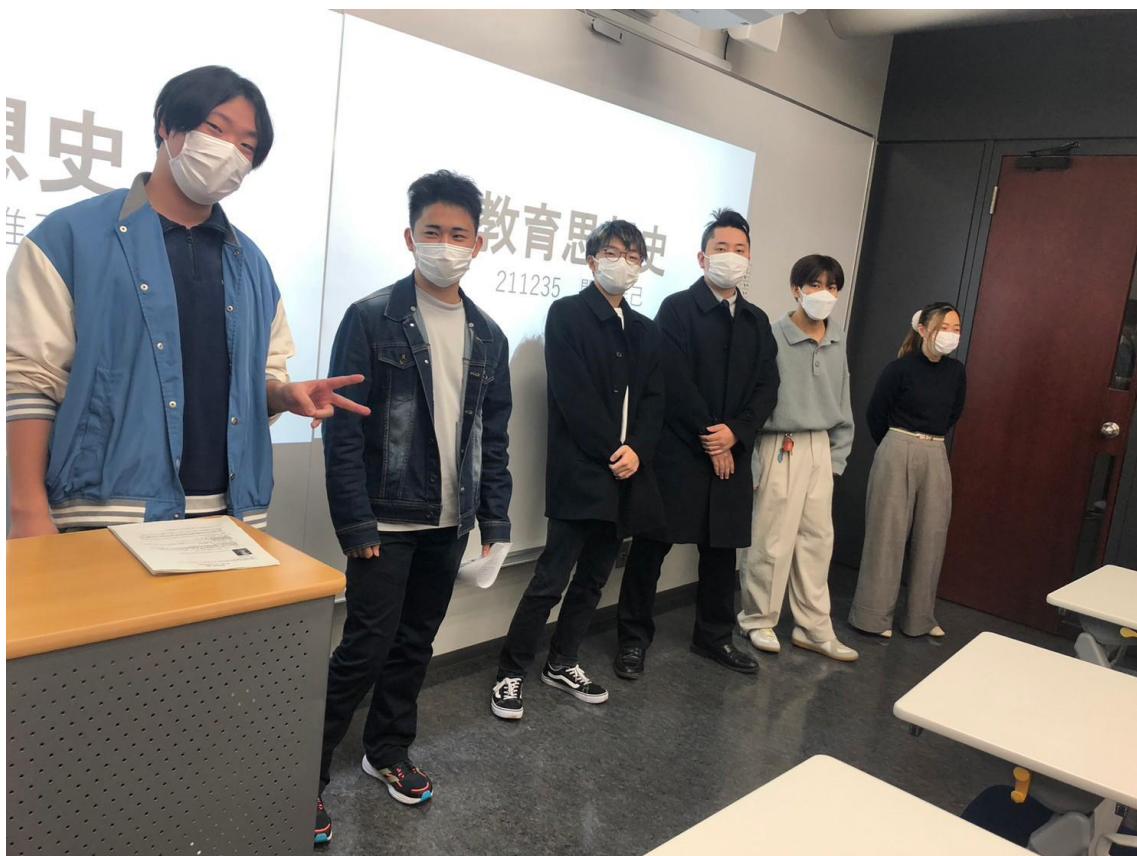
金融のゼミ→金融関係 のように直結する学問ではないので個人の力量と関心によってかなり差があります。金融・保険・不動産・地方公務員・交通・流通・食品関係・アパレルなどまさに経済活動にわたるものはなんでもというところがあります。卒論のテーマと関連したところに就職している人が多い印象があります。志望業界を限定はしませんが、貫性を持つことが大切だと思います。実際に教員になった人はまだいませんが、高校教員免許取得率がわりと高いです。教育実習の時期は、ゼミをお休みにしてありますので教員志望の方も大丈夫です。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門はイス・フランス国境地域の経済史です。趣味は映画や舞台などを見ることです。ゼミの関心に応じて、ゼミの時間に欧米経済史に関連する映画を鑑賞して感想を話し合ったりなども時々しています。飲み会はゼミ生の希望にもよりますが、多い年は1か月に1回、少ないときは学期に2, 3回やっていました。事態によりますが本年度は Zoom やラインチャットでのヴァーチャルお茶会や飲み会も計画したいと思います。一見おっとりして見られがちですが、報告の内容などには結構突っ込みます。

(7) その他

ゼミは人数が少ないので、どのような態度で臨んでいるかは教員だけではなく他のゼミ生にもすぐにわかります。本当にはかにもやりたいことや事情があってなんとか両立したいのか、単に手を抜きたいのかすぐにわかります。出席回数や発言回数といった形式的なことだけではなく（もちろんそこに現れては来ますが）、自分の適性とどういう貢献ができるかを考えたうえで誠実に参加してくれるこを望みます。



尾田基ゼミ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	経営組織	経営戦略	経営入門	マーケティングの基礎
コンピュータと情報 I	基礎演習 B				

3年（男）	3人	3年（女）	0人	4年（男）	0人	4年（女）	0人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

- 企業や業界の調査・分析・戦略立案（特に、公開情報の収集と分析方法について）
- 読むことと書くことを通じた学習

(2) キーワード

経営戦略論 マーケティング戦略 調査法 企業分析 業界分析 因果関係 研究方法 製造直販業 業態開発 プラットフォーム・ビジネス

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期はユニクロの創業者、柳井正の著作をとりあげ、マーケティング分析や財務諸表分析、他企業との戦略比較等を行います。比較的みなさんにとって身近な企業ではありますが、大ヒットし成長したのは皆さんが生まれる前のことであり、ユニクロがどのように成長してきたのかについては知らない部分が多いかもしれません。歴史的経緯の確認の後は、各種公開情報の収集方法を学び、エクセルによるグラフの作成や、スライドを用いたプレゼンテーション、レポート執筆時にWordの各種機能で使うべき機能と使うべきでない機能、文章表現上のルールなど、基礎的な手法を一通り、ユニクロを通じて学習します。

3年前期は、引き続きアパレル業界を対象として、問い合わせを立て、調査し、レポートにまとめる作業をグループ単位で行います。前期が問い合わせのないままに始める予備的な調査であったのに対して、後期は説明のつかない不思議な現象を探したり、解くべき重要な問題を探すところから研究プロセスの全体を経験します。3年後期は、毎年内容を変えていて、グループワークで何らかの調査プロジェクトを行うか、研究方法の本の輪読、研究手法の習得等、卒論を見据えての学習となります。

4年次は、卒業論文の執筆となります。4年前期はテーマや問い合わせの設定を試行錯誤し、4年後期は各自調査を行ったり、卒業論文を執筆します。過去のタイトル一覧はWebで公開しています。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年次では輪読のレジュメ作成や、プロジェクトのレポート作成など、絶えず何かしらの文章を日常的に書いたり直したりすることになります。各学期A4版で10枚程度のレポートを執筆予定です。読み書きを通じて、正確にクリアに考えるトレーニングを行いますので、文章を書くのが嫌いな人には明確に向いていないと思います。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

あまり詳細に把握していませんが、これまで聴いた限りだとIT、人材系、メーカー、住宅・インテリア、アパレル、飲食などいろいろでした。学年によってだいぶ雰囲気が違いますので、この先も割と

いろいろだと思います。

(6) 教員について(自己紹介等)

1984年兵庫県神戸市生まれ。2007年一橋大学商学部卒業、2013年一橋大学大学院博士後期課程修了、博士（商学）。一橋大学イノベーション研究センター特任助手、東北学院大学経営学部准教授を経て、2020年度より現職。本学では「経営入門」「経営組織」「製品戦略」を担当しています。ゼミ生の関心に応じて戦略論・組織論・イノベーション論・マーケティング論あたりのトピックには対応可能です。

(7) その他

- 履修制限、他科目の履修等について
 - 経営学科限定（他の履修科目のばらつき抑制のため）。
 - 他の授業で教えたことをゼミで繰り返す時間がとれないため、尾田の講義科目で、未履修のものは全て履修することを強く推奨します（2025年度は経営組織、経営戦略、製品戦略）。
 - その他の履修推奨科目として、経営分析、財務諸表分析、データ分析の手法Ⅰ・Ⅱ、データ分析の基礎（他学部提供）、があります。分析系統のツールや手法は、ゼミで学ぶには時間の制限がありますので、これらの科目を活用してなるべく自習するようしてください。
- ゼミの進行について
 - 原則毎週ノートPCを持参してください。ウェブブラウザとOfficeをフル機能で使えるものが望ましいです（Win推奨、Macは許容できますが、ChromebookやiPadは非推奨）。
- その他のイベントについて
 - 合宿や調査、学外イベントへの参加等で全員参加を要するものは予定していません。単発で自由参加の企画（何か見に行くなど）は提案するかもしれません。
 - 懇親会も定例の予定はしていません。各学年の雰囲気を見ながら、少人数でご飯を食べたり、卒パをやろうかなどとその都度提案をしています。実績で年1回程度、任意参加。
 - 本ゼミは学年別に実施し、学年を越えた交流は少ない予定です。1コマ90分で終えます。なるべく普通の授業のように運営する予定です。
- 適性等について
 - 毎回の出席が厳格に求められますが、課題の要求水準はイージーではありません。締め切りを守り、毎週自律的に取り組める人を求めます。普段の授業で課題の出し忘れや遅刻をする人は明確に本ゼミに向いていません。
 - 課題の未提出や連絡の無い欠席等に際しては以降の履修を認めないことがあります。4年時に入ってからの演習不合格はその場で留年が決定しますし、過去にそのような判断を下したことがあります。ゼミに入れば全員合格できるというわけではなく、水準に満たなければ他の授業と同じように落ちます。このことを理解した上で応募してください。
- 選考について
 - 応募者が一定の人数以下の場合、選考を行わず原則全員受入を予定しています。詳細は<https://odahajime.jp/>を御確認ください。
 - 選考に際しては、例年、取得総単位数と累積GPAを確認しています。ゼミ生に対して成績水準について何かを要求するわけではないのですが、累積GPAで3ぐらいを卒業までキープできることは重要であり、尊敬されることであると尾田は考えています。

小野 正人ゼミ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			会社入門	企業財務の基礎
コンピュータと 情報 I	基礎演習 B			簿記と財務報告 A	※2 年後期に履 修指定あり

3年（男）	14人	3年（女）	9人	4年（男）	8人	4年（女）	11人
-------	-----	-------	----	-------	----	-------	-----

（1） テーマ 『企業研究』

大企業、中小企業、ベンチャービジネス、外国企業、非営利組織を対象に、ケーススタディの手法を用いて企業研究に取り組む。企業の実情と課題に向き合う実践的なゼミです。

1. 目的：個々の企業を分担して研究し、発表・議論することによって、実社会において役立つ力を養っていく。担当教員の専門分野はベンチャービジネスとアントレプレナーシップであるが、ベンチャーや事業創造を視野に置きつつも、スタートアップから巨大企業まで幅広い組織を対象に考察していく。
2. 内容：①会社が公開する諸資料の収集方法、分析方法の学習、②発表・プレゼンテーションのトレーニング、③グループワーク、④実社会に向けた学習活動（キャリア設計、創造性・主体性、就職活動準備）、⑤外部講師を招聘した企業研究・討議、を行う。

（2） キーワード

企業を見る目、創造、イノベーション ⇒ 変化に対応でき、柔軟性を持ち、問題を解決できる人間になる

1.「企業を見る目」： 社会人になればさまざまな会社と付き合う機会が訪れる。会社をどのような物差しでどのように評価すればよいかを体得してほしい。

2.「創造」： ゼミの目標は自分で未来を拓く力を持つこと。知識を増やし、論理的に考え、他人に説明できるように努め、同時に自分がどうやって生きていくかを考えてほしい。

3.「イノベーション」： ゼミでは、世界で起きている革新的な変化を理解しうまく活用できるように修養することを考えていく。

21世紀は開発や進化を一つの会社や自分の周りだけで行うのではなく、世界の多様な人々と組んで取り組むオープン・イノベーションの時代であり、そのような環境に生き残って活躍できる人材を目指す。

（3） ゼミの進め方と求める人材

・2年次は、「経営分析」の授業をもとにゼミ生が講義を行う反転授業形式で行う。また授業に関連したケース演習で経営分析の力を高めていく。3年次は、各グループに課せられた企業研究(グループワーク)と有価証券報告書/アニユアルレポートの解読を行い、グループごとに企業研究の成果を発表しゼミ内で議論していく。4年次は、各自が関心のある会社・業種・テーマを選択して個人別に企業研究を行い、その成果をもとに卒業論文を作成していく。

・企業評価の基本的な知識を修得するために、年1~2冊の文献を輪読していく。

・様々な職業の選択肢と変化に柔軟に適応できる人材育成を目指しています。学外の専門家/実務家のゼミ招聘講演などを行う予定です。初対面・専門外の異なる世代の人々と交流する機会があるので、ゼミ生は主体的に質問や議論をすることが必須となっています。これらに取り組む熱意性のある人がゼミ入室の条件であり、幹事や役割を引き受けないような消極的な学生は応募をお断りします。

・ビジネスの知識・関心・探求・アナリシスの技能を高めていく実務重視のゼミです。色々なことに関心がある人、頭が硬くな

い/柔軟な思考力を持った人、面白い仕事がしたい/仕事を面白くしたい人が向いています。ただし高度な学術性・専門性を経験する機会が少ないと留意してください。

・このゼミは「経営分析」を2年後期に履修することが条件です。このため経済学科の学生は応募できません。

・ゼミ選考の倍率は例年1.5～1.8倍程度です。

(4) 卒業論文

・力を合わせて脱落者を出すことなく良い卒論を提出することを目標にしています。2年後期から分析手法と文献資料収集の知識を習得していく、卒業論文への意識を高めています。3年後期の段階から卒論のテーマを定めてプロジェクトファイルの蓄積をもとに前倒しに作業を行い、4年後期に卒業論文を完成させます。昨年度4年生の卒論の対象企業は以下の通りですが、学生の関心や問題意識に応えられるようにテーマの領域は柔軟に考えています。

森永製菓の研究	NTTデータの研究
海運業界における日本郵船	共立メンテナンスの変革
ソニーグループの研究	環境がアントレプレナーシップに与える影響
市場縮小下のビール会社の戦略	三井E&Sの研究
ゲーム企業の研究	電力業界の研究
テレビ東京ホールディングスの研究	サイバーエージェントの研究
航空大手2社の比較	GiGOの成功要因と今後のゲームセンター
バンダイナムコの企業分析	ツムラの経営分析
サイゼリヤの経営	玩具業界の研究
帝国ホテルの研究	

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

・例年、全員が民間企業に就職していますが、ベンチャーに入る学生もいれば中央銀行に入る人もおり、IT・通信、人材教育、不動産、金融、建設など分野は多岐にわたっています。ただし、私自身大企業や国家公務員を経験してきましたが、それらの職場は構造問題をかかえており決して安泰とは思いません。雇用が大きく変わる時代に、既成概念にとらわれずに進むべき分野を自分で考え動くことが重要だと思います。またベンチャーや起業を真剣に考えている人は歓迎します。

(6) 教員について(自己紹介等)

・1958年高知県生まれ。四国の山中で育ち、中高は陸上競技部、大学はボート部、元々は体育会系。

・東京大学経済学部卒業。國學院大學経済学研究科博士後期課程退学。日本製鉄/内閣府/日本生命保険/日本ベンチャーキャピタル/スタンフォード大学/慶應SFCを経て城西大学経営学部教授。2020年國學院大學に着任。大学卒業後、メーカー勤務にはじまり、中央官庁/金融機関/シンクタンク/海外留学/ベンチャーキャピタル/大学教員と、さまざまな職場を歩いた実務家教員です。

・担当講義：ベンチャービジネス、経営分析、ビジネスインターンシップなど。

・良くも悪くも物わかりが良くさばさばした性格で、判断は早いがあきらめも早い。フルマラソン12回出走、富士登山競争3度出走。現在は山歩きと料理が趣味で、富士山12回、高尾山298回登頂。歳をとっても健全な精神と身体を維持すること、新しい取り組みにチャレンジすること、年齢より十歳若く見られることが目標です。



木村 秀史ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	金融の基礎			
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B				

(1) テーマ

「金融と国際金融」から経済を学ぶ

(2) キーワード

銀行、証券会社、中央銀行、株式・債券、金利、通貨・為替レート

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

【ゼミの基本的な進め方】

金融論や国際金融論に関するテキストや書籍の輪読＆ディスカッション

報告者⇒「レジュメ」の作成とゼミ当日のプレゼンテーション

報告者以外⇒テキストを読んだ上で、質問を用意する

(教員の指示で適宜グループディスカッションも行ってもらいます)

当ゼミでは専門知識だけではなく、資料の作成能力、プレゼン力、考える力（ロジカルシンキング）といった総合力を養うことも目的としています。

【その他の活動について】

「他大学との合同ゼミやディベート大会」を開催する可能性があります。

ディベート大会は他大学とガチンコ勝負をするやりがいがあって面白いイベントです。

例年、大妻女子大学、島根県立大学、鹿児島大学と開催することが多いです。

「ゼミ合宿」も実施する可能性があります。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありませんが、ゼミの中で課す場合があります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融のゼミということもあって、全体的に金融機関が多めです（主に銀行や証券会社）。

それ以外にも幅広い業種に就職しており、IT関係、公務員、不動産、商社などがあります。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門領域は国際通貨・国際金融論で、最近の研究テーマは「国際通貨論から見た発展途上国の対外債務問題」です。趣味はアニメ全般のいわゆるオタクです。アニメに関してはかなり詳しいと自負しております。サークル「ラブライブ研究会」の活動には積極的に関わっております。

(7) その他

当ゼミでは新聞を読むことが必須です。新聞を読むことを通じて世の中の現状を知って初めて勉強していることが生きてきます。





齊藤 誠ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	金融の基礎			
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B				

1. テーマ

このゼミは、日本経済や国際経済の興味深い現象について、マクロ経済学や金融論の手法を用いながら分析し、ゼミ生全体で楽しく、真剣に考えていくような演習を目指します。その際、理論的な分析ばかりではなく、実際のマクロ経済データや金融データを手に取りながら実証的な分析も重視します。

2. キーワード

マクロ経済学、金融論、国際経済学、日本経済論、ファイナンス理論

3. ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年次は、齊藤誠著『教養としてのグローバル経済：新しい時代を生き抜く力を培うために』(有斐閣)のすべての章を輪読して、日本経済を取り巻くグローバルな経済環境について理解を深めます。演習は、ゆっくりと、じっくりと進めていきます。とにもかくにも、1年をかけて、1冊の教科書を丁寧に読み込み、その内容についてゼミ生や私と議論をしていきたいです。経済現象に対して、楽しく、そして真剣に向き合えるような態度を養っていきたいと思います。

3年次は、実験的な試みとして輪読課題を日本経済新聞（以下、日経新聞）とします。毎日、日経新聞を読む習慣を身に着ける練習を演習課題としてみます。学生時代のうちにこうした習慣を身に着けると、社会人になってからとても役に立ちます。

毎日、日経新聞を読み、1週間読んできた記事について議論をしていきます。まずは、演習IIAでは、いきなり全紙面を読むというのではなく、演習ごとに読む紙面（セクション）を限定して（たとえば、一面、総合欄、経済・政策欄、国際欄、マーケットデータ欄など）を読むスキルを訓練していきます。

4年次は、ゼミ生ごとにテーマを選んでもらい卒論の完成を目指します。

4. 演習IV以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

5. 先輩たちの主な就職先と傾向

令和7年より赴任する教員なので、実績がありません。

6. 教員について(自己紹介等)

私は、昭和35年生まれなので、60歳を超えた教員ですが、気持ちも、身体も、できるだけ若くなるように心がけています。大学卒業後は、銀行に勤めてエコノミストやアナリストの仕事をしてきました。その後、米国のマサチューセッツ工科大学で経済学博士号をとって、カナダや日本のいくつかの大学で教鞭をとってきました。このたび、いくつものご縁があつて國學院大學経済学部で奉職することになりました。

銀行のエコノミスト時代から数えると、40年あまり、日本経済や世界経済を観察してきたことになります。その間、大学の関係者だけでなく、政府や日銀、民間企業の人たちとも仕事をしてきました。また、大学教育においては、非常に元気のよい、面白い若者たちと一緒に過ごす機会にも恵まれました。このゼミでも、そんな私の経験を踏まえて、ゼミ生とともに有意義で面白い経験や機会を共有していくことを思っています。

私の教育上のモットーは、個々の学生に対して成果の絶対的な水準を求めるのではなく、私の講義や演習を受ける前と受けた後を比較して成長していること、すなわち、成果の相対的な水準の改善を求めていきたいと思います。

何らかのご縁があれば、ゼミで一緒に学んでいきましょう。

(7) その他

大学の4年間は、知識を高める習慣とともに、健康を保つ習慣も大切です。自分の体のケアもできるようになって社会に旅立っていってほしいと思います。

櫻井 潤ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	財政の基礎			
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B				

3年（男）	7人	3年（女）	10人	4年（男）	13人	4年（女）	8人
-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	----

(1) テーマ

「地域問題と地方財政」

この演習では、地域の経済社会における諸問題と、それらを解決するための地方財政の現状・課題について、ゼミ生が協力しながら学びます。

現代の経済社会において「地方公共団体（地方自治体）」が果たしている役割・活動領域・影響力はとても大きく、みんなの生活は地方公共団体の存在を抜きにしては成立しません。地方公共団体の活動領域は、警察・消防・道路整備や都市計画・公共交通・上下水道・教育・社会保障（医療・介護・子育て支援）など、広範囲にわたります。地方公共団体は、地域の諸問題を解決するために、どの分野の公共サービスをどのくらいの水準まで提供しているのでしょうか。そのために必要な財源は、どのような財政制度に基づいて集められているのでしょうか。

地域の諸問題に、「住民に最も身近な政府」である地方公共団体がどのように取り組んでいるのかを学び、時代の変化に対応した地域の経済社会や政府のあり方を一緒に考えましょう。

(2) キーワード

地方財政、地域社会問題、まちづくり、財政分析、納得できる学生生活、まじめに楽しく

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

このゼミを志望する学生は、卒業までのゼミ活動について以下の3点に同意してください。

1. 他のゼミ生と協力し、教えあいながら、ゼミ活動を進めてください。

ゼミ活動は自分の課題を済ませておけば良いというものではなく、自分が成長するために、他のゼミ生と一緒にを行うことが基本です。ゼミ生同士が密に連絡を取り合い、必要に応じて他のゼミ生の相談に乗るなど、協力して成果を出すことを目指してください。

2. 演習の時間外にも、ゼミ活動には十分に時間をかけて取り組んでください。
困ったときにはサポートしますので、がんばって取り組んでください。
3. 夏合宿・春合宿を行う場合には必ず参加し、楽しく活動してください（今年度は未定）。
その他、先輩・後輩のゼミ生や卒業生などの交流イベントを開催することもあります。
これらは、相互学習や就職活動に役立てるためのゼミ活動の一環として行います。一生の間になかなか得られない有益で貴重な機会ですので積極的に参加してください。

各年次におけるゼミの進め方は以下の通りです。

2年次： 【1】地域問題や地方財政に関する文献の輪読と、【2】市区町村の財政分析を行います。これらの活動を通して、読書習慣、文献読解、資料作成、発表、科学的考察、ディスカッション、情報収集、統計分析の仕方を身に着けてもらいます。2月頃に春の発表会を行い、ゼミ活動の成果発表や3年次の活動に向けた準備を行います。

3年次： 【1】学内外のプレゼン大会や討論会への参加… 作業を分担し、プレゼン資料の作成・発表やグループ論文の執筆・討論などを行います。【2】就職活動の準備… ゼミ生主体で情報交換・応募書類の検討・面接練習を行います。【3】卒業論文の作成に向けた準備… 研究テーマの決定、作業計画の作成、資料の収集・分析に着手します。9月頃に夏の発表会、2月頃に春の発表会を行い、ゼミ活動の成果発表や後輩へのアドバイスを行います。

4年次： 卒業論文の執筆… 自分で設定した研究テーマに基づいて、相互にディスカッションしながら作業を進め、卒業論文としてまとめます。8月頃に夏合宿、2月に春の発表会を行い、卒業論文の執筆に向けた議論、卒業論文の発表、後輩へのアドバイスを行います。

就職活動の際や卒業後に、納得できる楽しい学生生活を送ったと自信を持って言えるよう、ゼミ活動に取り組んでもらえると幸いです。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

- 2年次： 市区町村財政の現状に関する小レポート（3000字程度・1月末頃に提出）
- 3年次： プrezen資料（10～15分程度で報告するための分量・9～10月頃に提出）
グループ論文（8000～1万2000字程度・10～11月頃に提出）
- 4年次： 卒業論文（1万2000～2万字程度・11～12月頃に提出）

(5) **先輩たちの主な就職先と傾向**

1・2・3期生の就職先は、不動産業、IT関連業、人材開発・出版業、地方公務員、国家公務員などです。4期生も就職活動を積極的に行い、続々と内定を得ています。

(6) **教員について(自己紹介等)**

2020年に着任しました。社会保障財政、まちづくりと地方財政、地域医療政策について、現地調査を取り入れた国際比較研究を行っています。ニューヨークの貧困者医療保障、サンフランシスコのチ

ヤイナタウン・コミュニティ、北海道釧路市のドクターへり、大阪府阪南市の住民自治などを調査してきました。疲れた顔をしてますねとよく言われるのですが割と健康です。

東海林 孝一ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習 I サマセ	演習 I スプセ	演習 II サマセ	演習 II スプセ	演習 III サマセ
○	○	○	○	○

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会計入門		簿記の基礎	
コンピュータと 情報 I	基礎演習 B				

3年男	11人	3年女	6人	4年男	12人	4年女	5人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ 会計の目で企業を見よう

東海林ゼミでは管理会計について研究します。まず、会計学は財務会計と管理会計に大きく2分類することができます。財務会計は企業の利害関係者（株主や債権者、従業員等）に企業の財政状態や経営成績等に関する情報をどのように開示するかを研究する領域です。

管理会計は企業経営をサポートするための会計であり、企業がもっと合理的に経営するために必要な会計理論や技法のことを言います。なお管理会計には予算管理と原価計算という2つの領域があり、ゼミでは主に予算管理を中心に管理会計全般を学びます。皆さんのが就職する大企業や上場企業は、予算管理制度を採用していることが必須になっていますので社会人になって必要な知識の一つです。

新型コロナウイルスによって、世界の経済、日本の経済は大打撃を受け、ロシアによるウクライナ侵攻によって食糧や資源価格の高騰、さらに円安がそれに拍車を掛けています。当然、企業経営にも深刻な影響があり、すでに倒産する企業も出始めました。管理会計で学ぶ知識は企業経営にとって非常に重要な必須の知識です。例えば損益分岐点分析（黒字になるために必要な売上高の計算や、赤字にならないためには売上高の減少をどの程度までに抑えなければならないか）や資金予算（日々の資金繰りや設備投資資金に関する予算）等は就職してからすぐに役立つ知識です。また「値引きをして販売数量を伸ばすべきなのか、それとも販売数量が減っても値上げをして利益率を改善すべきなのか」といった企業戦略を策定するときに、管理会計は欠かすことができません。深夜はお客様の減ることが明らかなのにコンビニが24時間開店しているのも、マクドナルドでポテトやドリンクがセットされているメニューが割安なのも、管理会計の理論や技法を理解すると簡単に理解することができます。

(2) キーワード ①ゼミこそ大学 ②自分の可能性への挑戦 ③考えて行動する

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

①演習 I (2年次後期)

演習Ⅰの内容は会計学の基礎である財務会計について、各自テーマごとにレジメを作り発表してもらいます。名を私のゼミでは一定水準になってから発表が認められます。よって発表水準に達していないと判断された場合は、何度も作り直しを命じられます。ここでの訓練が演習Ⅱで生かされます。

②演習Ⅱ（3年次通年）

活動基準原価計算、マテリアルフローコスト会計、シェアードサービスマネジメントなど管理会計の主要な理論や技法について、テーマごとにレジメを作り発表してもらいます。文献検索、データの収集能力が求められます。なお3年次終了までに日本商工会議所簿記検定2級を合格してもらいます。

③演習Ⅲ（4年次通年）

演習Ⅱで培った管理会計の理論や技法をもとに、各自が選んだ卒論のテーマに沿って、順次発表してもらいます。

→（4）参照

④演習Ⅰ（サマーセミナー）、演習Ⅰ（スプリングセミナー）、演習Ⅱ（サマーセミナー）、演習Ⅱ（スプリングセミナー）、演習Ⅲ（サマーセミナー）ではマネジメントゲームを用いたアクティブラーニングを行います。4人1組で売価原価の異なる3種類の商品を売買して、貸借対象表損益計算書、株主資本等変動計算書を作成して業績を競い、株主総会で決算承認と取締役の選解任をします。4年生や3年生は販売戦略の立案や長期借入や増資などの資金計画の立案、経営を行い、2年生は入金伝票、出金伝票の処理、金銭出納帳、仕入帳、売上帳、商品有高帳の記帳処理を担当します。また予算編成、予算差異分析も行います。

ここまで順次説明したよう、演習Ⅰ～Ⅲは理論や事例の研究、演習Ⅰ（サマーセミナー）から演習Ⅲ（サマーセミナー）までの大学での集中授業は、ビジネスゲームを用いたアクティブラーニングになりますので、それぞれが連携しています。従って全て出席することが原則になります。事前の許可を得ずに欠席するとゼミを辞めてもらいます。就職活動といえども例外ではありません。

（4）卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

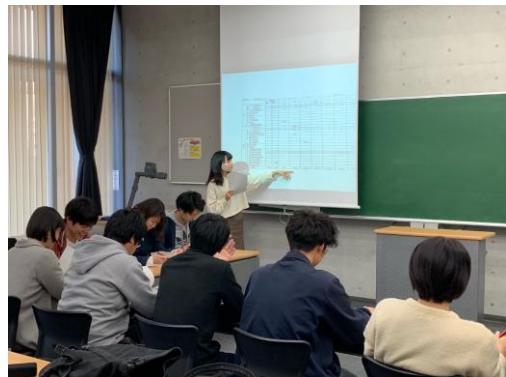
演習Ⅲの最終授業時に卒業論文を提出してもらいます。テーマは企業経営や会計理論・実務に関わるものであれば、自由に選択できます。20,000字以上の卒業論文の提出が4年次の単位認定条件です。

（5）先輩たちの主な就職先と傾向

メーカーの営業や経理の比率が過半数で、金融機関（三井住友銀行、みずほ銀行、群馬銀行、長野銀行、山陰合同銀行等）や公務員（国土交通省、前橋市役所、坂戸市役所、国税専門官、財務専門官、消防士）などがあります。具体的な企業名を挙げると、アサヒ、アイリスオーヤマ、NTTドコモ、いすゞ自動車、伊藤園、キューピー、NEC、日本製鉄、東洋製罐、タカラスタンダード、ブリヂトン、楽天、ローソン、理研ビタミン、三菱食品、東洋エレクトロン、沖電気などです。税理士は10人以上います。科目合格者も20人は超えています。公認会計士（令和6年度2人、短答式は6人）、米国公認会計士もあります。また税理士志望のための大学院在籍者は3人。変わり種では、歯科医師（開業医）、市議会議員もゼミの卒業生にはおります。

(6) 教員について(自己紹介等) 國學院大學経済学部卒業後、横浜市立大学商学部大学院修士課程を修了（経営学修士）し、青山学院大学経営学研究科博士後期課程を経て現在に至ります。横浜ベイスターズとお酒が大好きです。硬式野球部長でもあります。昔、学生につけられたあだ名は「明るいオタク」でした。

(7) その他 オフィスアワーや公開ゼミに来て何でも質問して下さい。



杉山 里枝ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			経済史入門	
コンピュータと 情報I	基礎演習B				

3年男	14人	3年女	6人	4年男	12人	4年女	8人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ

歴史的視点から読み解く日本経済と企業経営

(2) キーワード

日本経済史、経営史、企業家史

(3) ゼミの進め方

- 2年次：経済史・経営史に関する基本的なテキストを輪読し、基礎知識を身に付けます。毎回、グループでプレゼンテーション方式で内容を発表してもらい、教員による解説と質疑応答をするほかに、輪読のテーマに沿った課題(ワーク)を出し、それについてグループで議論し(GW)、全体討論を行います。
- 3年次：秋学期に他大学(明治・青学)との合同ゼミ(プレゼンテーション交流発表会)を行うので、そのための準備として、グループでテーマを設定し、研究を行います。学内のゼミ成果発表会にも参加します。プレゼンのテーマは、歴史に限らず経営学や経済学から自由に設定します。また、外部講師を招いて講演していただき、幅広い知識について学びます。
- 4年次：就活対策として業界研究や面接対策などを行い、その後は卒業論文作成に向けた研究を中心に活動を行います。

※夏季休暇中には、企業見学、資料館見学など課外学習も行っています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

とくにありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融(証券、銀行)、保険、商社、不動産、サービス、コンサル、メーカー、福利厚生、音楽、食品、航空など幅広い業種に就職しています。大手サービス企業において年間全国MVPを受賞した卒業生もいます！

(6) 教員について(自己紹介等)

専門は日本経済史、経営史です。鉄道史・電力業史・織物業史・財閥史といった産業・企業に関する研究から、観光(ツーリズム)の歴史研究、渋沢栄一・岩崎弥太郎といった企業家に関する研究までひろく経済史・経営史に関する研究を行っています。2016 年に本学に着任し、1~3 期ゼミ生を担当した後に渡米、ハーバード大学において在外研究を行いました。現在の 3 年生で 8 期目です。大学時代には 2 つの学科(経済学科・経営学科)を卒業し、2 つのゼミ(現代経済・経済史)に所属していました。そのため、幅広い視野から経済・経営の「歴史と今」を結び付けて研究することを志向しています。

(7) その他

ゼミ生同士、グループワークを中心に、和気あいあいとした雰囲気のなかでゼミ活動を行っています。ゼミ活動をつうじて、専門的知識の修得のみならず、卒業後に必要な「社会人基礎力」(前に踏み出す力・考え方抜く力・チームで働く力)を向上させていってほしいと思っています。ゼミ生にとって、「毎週集まりたい!」「杉山ゼミによかった!」と思えるような環境づくりを目指し、指導を行っています。歴史に対して苦手意識のある学生であっても、その意識を克服し楽しく学べるよう、わかり易く説明するように心掛けていますので大丈夫です。わからないことがあれば、どんどん質問してください。楽しく、そしてしっかりと知識や主体的に学ぶ力を身に付けたい学生は、ぜひ応募してください！！





鈴木 智之ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	統計入門		人的資源管理	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B				

(1) テーマ

経営学で扱う経営資源としての「ヒト，モノ，カネ，情報」のうち、「ヒト」に注目した研究分野である「人的資源管理論」を扱います。

経営組織はどのような人材を採用選抜すればいいのか，職場での人材育成やチームビルディングはどのように進めると効果的なのか，給与やキャリアを決定する人事評価はどのように設計すればよいのか，などのテーマに取り組みます。その中で，まずは人的資源管理の始発点となる「人材採用」を構成する就職面接，適性検査，エントリーシートといった手法の研究史，課題などから検討を始めます。

研究法は「データ分析」に強く依拠しますのでエクセルや統計ソフトウェアのRを積極的に利用することを予定しています。

(2) キーワード

人材採用，就職試験，人材育成，チームワーク，人事評価，人事管理，給与管理，データ分析

(3) ゼミの進め方

学部科目「統計入門」を履修することが必須です。また，ゼミ開始後でも問題ありませんので「人的資源管理」「ビジネスリサーチ」をなるべく早期に必ず履修してください。

● 2年次：卒業論文の基礎となる経営学論文・書籍と経営データの調査方法，データ分析方法を学びます。また，卒業論文のテーマについて考えます。学生が主体となって学術文献を読み，グループワークを多く行って相互理解を深めます。

● 3年次：卒業論文の準備のためのデータ調査，分析，考察を行います。

● 4年次：卒業論文を作成します。

ゼミの進め方は学生が主体となって研究テーマを定め，プレゼンテーションを行い，グループワークでプレゼンテーションの内容を深く掘り下げて考えながら人的資源管理とデータ分析についての知識を相互に高め合っていきます。経営のグローバル化を睨み，英語論文・文献も調査対象に含めることを必須にします。そのため，統計，経営学の基礎，英語のいずれも必要です。

なお，合宿の予定はいずれの学年でもありません。

懇親会は隨時開催する予定です。

(4) 演習IV以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

- 2年後期「演習Ⅰ」：卒業論文の構成を提出（数枚程度。学期後半に締切）。
 - 3年前期「演習ⅡA」：4000字程度の卒業論文ドラフトを学期後半に提出。
 - 3年後期「演習ⅡB」：10000字程度の卒業論文ドラフトを学期後半に提出。
- なお、4年次の卒業論文は12000字以上（未定）が求められます。詳細はゼミ開始後に案内します。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

本学には2025年4月着任のため、該当のデータはありません。

前任校では経営コンサルティング業界、メガベンチャー、IT業界、自動車製造業などにゼミ生は就職しました。就職活動やビジネスへの意識の高い学生を歓迎します。

(6) 教員について(自己紹介等)

大学卒業後、米国系経営コンサルティング企業で事業戦略・組織戦略・人事制度についての経営コンサルタントとして働いていました。大手製造業や保険業を対象にしたコンサルティングに従事しました。その後、20代後半で経営コンサルティング会社の創業に参画、30歳で人材採用支援企業を起業して10年以上代表取締役を務めています。起業しながら社会人大学院で博士学位を取得し、30代半ばから慶應義塾大学大学院、東京大学大学院、名古屋大学大学院などで大学教員となり、学術研究を行いながら、民間企業、地方自治体、政府などの学術アドバイザーなどを務めてきました。

そのため、アカデミックなアプローチを厳格に持つことを最優先にしていますが、同時に企業実践への意義も見据えた活動を行っています。ゼミ生にも、かつてのダグラス・マグレガーのX理論・Y理論などの経営学の有名な起源的研究がそうであったように、アカデミックとビジネスを不可分なものとして捉えて欲しいと願っています。

(7) その他

上記のような背景があるため、ゼミに参加する学生にはビジネス社会レベルでの学習態度を求めます。グループワーク、文章作成、出席、教員への連絡などにおいて一般社会で求められる高い水準を満たそうと思う学生が参加してください。経済社会の中で成果を発揮し、経営・組織の未来を自ら創りたいと考え、それを学生時代から実践しようとする目標志向や成果志向の高い、地道で真面目な学生に向いています。

ゼミには全ての回に出席することが求められます。またゼミの時間は学生の発表内容などによっては延長することもあります。いずれ複数の学年を合同で実施する予定のため、教員が担当する他学年の演習の該当時間にも参加することになります。

なお、教員の専門分野の一つに就職試験がありますので、就職試験について企業組織と学生のマッチングとは何か、良い採用面接、適性検査、エントリーシートとは何かについて深く考えたい学生を歓迎します。また、チームビルディングやチームワークを人的資源の観点から研究することも行っています。個性を活かしたチームについて深く考えたい学生も歓迎します。人材ビジネスについて興味のある学生も歓迎します。

※経営学科の学生のみ応募可能です。

高木 康順ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	経済理論入門	経済経営数学入門		
コンピュータと情報Ⅰ		統計入門			

3年(男)	8人	3年(女)	1人	4年(男)	8人	4年(女)	2人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

日本とアメリカのデータを使ってマクロ経済学の基礎理論がどこまで有効か確認する

(2) キーワード

マクロ経済学 パソコン 統計分析

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

時間割上の 90 分のみを利用し、各学年独立して実施します。

2年生

教科書：N・クレゴリー・マンキュー：『マンキュー入門経済学』、センゲージラーニング株式会社

ゼミ中はノートパソコン上で画面を共有して進めます。複数のゼミ員が同時にノートパソコンで作業し、その作業結果をネットワーク上で共有し、修正作業を継続する必要があるため、合格後、ノートパソコンを新たに購入する場合選定相談を受けます。また、希望者にはノートパソコン利用法と基本ソフトウェア、ネットワーク環境設定を研究室で確認します。

夏休み中に数学準備として「経済経営数学入門」の講義ノート No.1~10 を復習してもらいます。

後期開始後は、経済理論の入門教科書の内容を、報告者がスライドと口頭報告用の原稿を用意して報告します。スライドには、教科書で利用されている図表を、見た目をお絵かきで再現するのではなく、理論的な説明に沿って数式化し、表計算ソフトを用いたグラフや表で再現します。章末の問題は報告時間の余りの範囲で報告者以外に解いてもらいます。

演習 1 以外に、3 年次の理論分析の準備のために「データ分析 I」を履修してもらいます。他に「ビジネスリサーチ」は 3 年次までに必ず履修してください。

3年生

教科書(予定)：R・J・ゴードン：『現代マクロエコノミクス』原著第6版上下：多賀出版
中級のマクロ経済学理論の教科書の内容を、章毎にデータ分析と理論の報告を分担しておこないます。
「分析」はその章に掲載されている、アメリカ経済の1980年代までのデータを使ったグラフを、最新の日米のデータを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論的な説明がどこまで当てはまるか確認します。
データを用いた検証はグラフの再現を超えてどこまでできるか、ゼミ生単独では範囲を設定できない場合が多く、教科書の理論をどのような手法を組み合わせて分析するか指導します。
演習2以外では「ビジネスリサーチ」・「データ分析I」で取り残しているものの単位を取得してください。

4年生

卒業論文は、3年時の演習で行った分析の中から各自でテーマを設定します。テキストの記述から、対象範囲を拡げたり、理論をより精緻化したりして掘り下げ、「データ分析I」の手法を用いて結論を導くことを重視します。独自のアイデアや論考がなくとも、学んだ手法が駆使されていれば高く評価します。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・商社など一般的な事務系職種に就職していますが、IT系への就職も目立ちます。

(6) 教員について（自己紹介等）

日本経済全体の消費行動の理論構築と計量経済分析が研究テーマです。経済状況の変化に影響を受けて生じる、耐久消費財支出時期の理論的最適からの遅れをモデル化・検証しています。
性格は大まかで、論文に求められる緻密さは数学に依存しています。理論モデルを飽きずに延々とひねくり回したり、結果が中々出ないデータ分析をしつこく続けたりするのは大好きですが、ゼミ生の指導で細かいミスをほじくり返したり怒り続けたりする根気はありません。

(7) こんな学生に来てほしい

ミクロ・マクロ経済理論、モデル構築に必要な数学、データ分析の手法と学ばなければならない範囲は広いですが、理論の基礎から学び直すので、改めてゼミからスタートしたい人でも大丈夫です。が、ゼミの準備に時間をかけないと達成水準は低くなるので、学ぶ意欲はしっかりと持って来てください。経済経営数学入門水準の数学と、統計入門水準のExcel操作能力は前提です。統計ソフトR等を使ったより高度な分析に興味がある人を歓迎します。

また、応募者数が多数であればグループワークとしますが、基本的に個人対応なので、基礎演習のようなグループワークの苦手な人も全く問題ありません。

なお、応募者数が予定人数を下回る場合、提出書類の要件を満たしていれば合格とし面接は実施しません。

高橋克秀 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済統計の見方	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			経済理論入門	

3年男	10人	3年女	1人	4年男	5人	4年女	人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	---

(1) テーマ

データ分析の基礎

(2) キーワード

ビッグデータ クラスター 統計学 計量経済学 統計検定

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

毎回担当者を決めてパワーポイントで発表する。個人のパソコンは必須。統計学検定の取得を勧めている。2級合格者は就活市場で引く手あまたとなる。毎年2名ほど合格している。合宿はやらない予定。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

毎年12月に行われる経済学部の懸賞論文に必ず応募することを奨励している。統計学検定3級、2級の勉強を奨励している（ゼミでも練習問題を解く）

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

最近は企業情報調査、IT、金融機関が多い。有名なところではソニー、みずほ銀行、帝国データバンクなど。

(6) 教員について(自己紹介等)

新聞記者→エコノミスト→教員 世界遺産歩きが趣味

(7) こんな学生に来てほしい

正当な理由なく欠席する学生は困ります。90%以上出席できるかどうかよく考えてから応募してください。このゼミでは統計学の基礎を学んだうえで、現実の経済・経営問題、社会問題（最近はスポーツや健康・医療の統計分析も）を数値的に解析します。テーマは自由です。芸術に関するテーマも歓迎しますが、アニメとゲームは範囲外です。

春休み、夏休みは軽い課題が出ます。卒論（ゼミ論）は必須です。 とはいえ、2年生の間は易しいところから始めるので心配ありません。数学は得意である必要はありませんが、経済経営数学入門レベルは前提とします。

田原 裕子ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			社会保障論	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B			地域政策	

3年男	8人	3年女	3人	4年男	8人	4年女	3人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

人口減少社会における地域政策と社会保障

少子高齢・人口減少社会における持続可能な社会保障と地域のあり方について、大学での座学と渋谷における地域連携活動を通じて具体的に学び、考える。グループワークや学内外でのプレゼンテーション等を通じて、協働する力や自分の考えを的確に伝える力を身につけることで、社会人基礎力を養う。

(2) キーワード

地域連携活動の実践、学外機関に対する研究発表

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

- ・ 2年後期はグループでの調査研究（昨年度は「使われる公共空間」や「住宅確保要配慮者に向けた政策」をテーマにグループ研究を行いました。グループ研究を通じて、テキストの読み方・まとめ方、データの集め方・整理のしかた、伝わりやすいプレゼンの基礎をしっかりと学びます。）
- ・ 3年前期は、グループでの調査研究を継続しつつ、学外機関（渋谷区、一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントなど）に対して研究結果の報告も行います。3年後期からは卒論執筆に向けた文献調査、統計調査を始めます。
- ・ 4年次は卒論の執筆を進めます。
- ・ 毎週のゼミ以外に、卒論発表会・O B O G会、学外での研究報告、渋谷での地域貢献活動（渋三さくら祭でのイベントの企画・運営など）、公式飲み会（年に3回程度）などがあります。
- ・ 部活のように勉強するゼミです。時期や人によって差がありますが、平均すると生活の3割～4割くらいをゼミに費やしているそうです。とはいえ、勉強のしかたや時間の使い方を工夫することで、就職活動はもちろん、サークルやバイトとの両立ができるおり、その能力が就活や仕事にも活きているようです。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

- ・ 2年後期：ゼミ成果発表会で報告します。
 - ・ 3年、4年：渋三さくら祭実行委員会、渋谷川広場運営連絡会、渋谷駅前エリアマネジメント、渋谷区住宅政策課などに対して、グループワークの研究成果の報告を行います。
- ※ グループワークの内容は年によって変わります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・保険、インフラ（鉄道、通信）、デベロッパー・ゼネコン、メーカー（食品、製薬、自動車、化粧品、機械など）、広告、出版、テーマパーク、運輸、公務員など。

年に 1 度の卒論等発表会・OBOG 会のほか、普段のゼミに顔を出してくれる OBOG も多く、学年の離れた OBOG に就活や卒論の相談ができることも強みです。

(6) 教員について(自己紹介等)

都市地理学の視点から渋谷再開発がクリエイティブワーカーの働き方や地域経済・社会に与える影響、高齢人口移動が地域に与える影響などを研究しています。お酒を飲むのが好きなので、「卒業したら飲み友達」です。

(7) その他

「渋三さくら祭」で検索すると関連記事がたくさん出てきますので、ぜひチェックしてみて下さい。また、3年次のグループワーク（渋谷区との共同調査）は渋谷区の「まちづくりマスターplan」（第 1 章）にも取り上げられています！

[渋谷区まちづくりマスターplan \(city.shibuya.tokyo.jp\)](http://city.shibuya.tokyo.jp)



中馬 祥子ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習 I サマセ	演習 I スプセ	演習 II サマセ	演習 II スプセ	演習 III サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			世界経済入門	
コンピュータと 情報 I	基礎演習 B			社会経済学	

3年男	13人	3年女	8人	4年男	11人	4年女	4人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ： グローバル経済の中で深刻化する経済・社会格差問題(ジェンダーを中心に)

このゼミでは、グローバル経済の展開と密接に関わりつつ深刻化する経済格差や社会的差別の要因・現状分析、ならびにそれらを踏まえた「オルタナティブな経済を模索する動き」について、ジェンダーを中心に学んで行きます。ゼミ生の皆さんがあなたが直接対象とする地域は問いませんが（日本、他の先進諸国、開発途上国、いずれの地域を扱っても構いません）、分析の視野をその国や地域に限定することなく、背後にあるグローバル経済の動態について理解を深めていくことが必須となります。それにより、様々な地域について研究を進めているゼミ履修生間の分析視点に共通項が生まれるのであります。

(2) キーワード： 格差、貧困、差別、市場経済、社会的企業、社会的連帯経済

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

演習 IIIB での卒業論文完成に向けて、演習 I では文献の探し方、読み方、分析の仕方、研究成果の執筆や発表の仕方など、基本的なアカデミックスキルについて、集中的におさらいするところからスタートします。その際には、1 年時に履修した「基礎演習 A」の資料を用います。また、こうした作業と並行して、ゼミテーマに即した内容の基礎的な文献をゼミ生全員で読み進めます。その過程で、研究論文の「批判的な」読み方のコツをつかむと同時に、ひとつの文献の中から、芋づる式に他の文献を探していく手法を実地で学んでいきます。学期の最終授業日には、各自、共通講読文献についての「書評レポート（4000 字程度）」を提出してもらいます。

3 年生前期の演習 IIA では、2 年次までに培ったアカデミックスキルを基礎に、「個人テーマ」を最終決定します。そのテーマに沿って自ら適切な文献を検索し、入手出来るようにすると同時に、グループ・ワークを中心として、同じテーマについて異なる視点から書かれた複数の文献を比較検討しながら、自分の考えをまとめていく訓練をします。前期の最後には、個人テーマについて、自ら選んだ複数の文献について批判的に比較検討する「書評論文（6000 字以上）」を提出してもらいます。

後期の演習 IIB は、例年 12 月頃に実施される「ゼミ成果発表会」での報告準備と、その報告成果を基にしたゼミ論文（12000 字程度）の執筆が主な課題となります。「ゼミ成果発表会」に関しては、後期初回に比較的近

いテーマの履修生たちでグループを組み、グループ・テーマを設定した上で報告スライドの準備を進めています。10月と11月は、ほぼ毎回、報告準備の進捗状況に即した主題についてゼミで発表をし、その内容やプレゼンテーションのやり方についてゼミの仲間からコメントをもらいながら、改善していくことになります。「ゼミ成果発表会」終了後には、グループ・テーマを深掘りする過程で理解が深まった個人テーマに立ち返り、ゼミ論文を形式面・内容面双方から整えていきます。演習 IIB ゼミ論文の提出期限は最終授業日となります。

4年生前期の演習 IIIA は、就職活動に関するスキルアップを視野に入れつつ、履修生各自が前年度に執筆した演習 IIB ゼミ論文の内容に基づき、プレゼンテーションやディスカッション、ディベートを行う力を高める訓練を繰り返し行っています。専門性の高い内容について、伝える側はいかにゼミの仲間が理解できるように、興味を喚起するように伝えることができるか、また聴く側は、いかに能動的・批判的にその内容を理解し、コメントや議論をすることができるか、を考えていきます。その上で後期には、再度、演習 II で執筆したゼミ論文に立ち返り、前期の学びの成果も生かしつつ、それを「卒業論文」としてよりよいものに仕上げていく作業を行うことします。

なお、演習 I、演習 II、演習 III いずれも合宿の予定はありません。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

1. 演習 I 最終授業日・締切 4000 字程度の書評レポート
2. 演習 IIA 最終授業日・締切 6000 字以上の書評論文
3. 演習 IIB 最終授業日・締切 12000 字程度のゼミ論文（自由課題）

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

例年、金融・保険業が少数おり、メーカー・サービス業（BtoB も BtoC もあり）へ行く人が主、という感じです。近年の卒業生の主な就職・進学先は以下の通り。あいおいニッセイ同和損保、アニエスベー、一条工務店、静岡銀行、積水ハウス不動産東京、東京大学大学院経済学研究科（進学）、三井倉庫エクスプレス、リコー・ジャパン、WOWOW コミュニケーションズなど。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野は、開発途上国ならびに先進諸国の女性労働研究、世界システム論研究、社会的連帯経済研究など。中・高とクリスチヤンの学校に通っていたこともあり、子どもの頃から、ことあるごとに格差問題や差別問題について考えさせてもらいました。その影響もあってか、20代の頃は、途上国開発の実務家になろうと思い、スリランカの山村で農村開発 NGO のボランティア活動に従事。超高速飛行のゴキブリが顔に激突してもめげない神経は、その時に養われたものです。…とは言え、こうした活動の過程で、現場の努力だけではどうしようも出来ない、大きなグローバル経済の構造についてもしっかり学びたいと思うようになりました。

(7) その他

和気あいあいと、しかし論文の書き方やディスカッションの仕方などはしっかりと身に付くよう、ハード・ソフト両面を併せ持つゼミにしたいと思っています。自ら「力をつけたい」方の応募をお待ちしています！



手塚 貞治ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A				
コンピュータと 情報I	基礎演習B				

3年男	9人	3年女	9人	4年男	11人	4年女	8人
-----	----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ

「成長戦略研究」

企業が成長するためにはどのような戦略をとって、どのようなビジネスモデルを構築すべきなのか、を考えていきます。教員の実務経験も踏まえて、実社会に出てからも役立つ戦略分析力を養うことを目的とします。

(2) キーワード

ビジネスモデル、ビジネスプラン（事業計画）、経営戦略

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

現段階では下記を予定しています。

演習Ⅰ（2年後期）

・経営戦略論の入門書（と言ってもそれなりに本格的な書籍）を輪読し、まずは「経営戦略」についての基礎力を身につけます。

課題図書 『経営戦略入門』網倉・新宅（日本経済新聞出版社）

演習Ⅱ（3年生）

・前期は、実在企業について分析し、その企業の成長戦略を評価・分析していきます。教員より分析手法やフレームワーク等をレクチャーしますので、それを踏まえて、各チームに分かれてその企業の課題や戦略の方向性を発表し、全員で討議を行います。

・後期は、コンテスト応募を目標にチーム別にビジネスプランを作成してもらいます。

演習Ⅲ（4年生）

・卒業論文を作成していきます。各個人が特定の業界・企業等のテーマを選定し、その業界・企業の課題を分析し、戦略の方向性について論文にまとめていきます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）
隨時、ゼミ内での発表資料は提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向
メーカー、小売、IT、航空、コンサルティング 等、特に傾向はありません。

(6) 教員について(自己紹介等)
約 30 年間にわたり、コンサルタントとして実務を経験してきました。
研究と実務の二刀流を模索し続けており、その経験をゼミ生の方々にフィードバックできればと考えています。
本学における 2025 年度の担当科目は、「ビジネスソリューション」「日本の中小企業」「事業承継」「現代ビジネス」「基礎演習」等です。

(7) その他
ゼミとは、学生が主体となって学び合う場であり、教員はあくまでその支援をする存在です。そしてゼミとは、勉学だけでなく、社会人になるために必要なコミュニケーション能力等を養う人格形成の場でもあり、卒業後も続く縛を育む場もあります。
したがって、ゼミ活動を最優先して真摯に取り組んでいただく必要があります。毎回出席したうえで、討議参加・課題作成することが条件となります。体調不良や忌引以外による欠席は原則として認めません。
積極的かつ真面目に取り組んでいただける方に対しては最大限のサポートをするつもりですので、そのような意欲のある方の応募をお待ちしています。

中泉 真樹 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			経済理論入門	
コンピュータと 情報I	基礎演習B				

3年男	14人	3年女	2人	4年男	9人	4年女	3人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

ビジネスあるいは経営戦略のためのミクロ経済学を学ぼう

それらをふまえ、経営戦略を経営学とミクロ経済学の双方から理解し、実践できるようになろう

そのために必要となる数学を学ぼう（復習しよう）

教材を通して英語力（ただし読解力）を自主的に向上させよう

(2) キーワード

論理的かつ戦略的思考力と専門的基礎力に裏打ちされた自信

ともに学びともに成長

(3) ゼミの進め方

2年次：演習Ⅰでは、経営戦略に関連するミクロ経済学の初步を中心に学び、土台固めをする。必要な数学の初步も学ぶ。基本的には下記の主教科書の最初のほうにある *Economics Primer :Basic Principles*などを主な題材とする。

3年次：演習ⅡAでは、2年次の学習を基礎に、主教科書等を題材に「経営戦略の経済学」をさらに深く学習・研究。演習ⅡBでは、経営学の一分野である経営戦略論の詳細を、これまで学んだ経済学的な知見で、批判的に相対化して徹底学習。

4年次：演習ⅢA・Bは、個別研究とそれに基づく卒業論文の作成。個別研究とはいって、ゼミ生全員でテーマを互いに共有、相互に批判・検討、切磋琢磨して、いい論文に仕上げる（そのチームワークを重視）。論文のテーマは、経済学、経営学、会計学にかかわっていれば、原則、なんでもよい。

3・4年次合同のサマーセミナー： ① 3年生による「演習ⅡBの出発点的な内容」に関する学習報

告をすでにその知識のある4年生がコメント。相互に理解を深める。②4年生による卒業研究の中間報告。4年生のみならず、次の年には論文を書くことになる3年生も積極的に質問・発言。ディスカッションを盛り上げる。

2年次演習Ⅰと3年次演習ⅡAの主教科書は

D. Besanko, D.Dranove, M.Shanley, S. Schaefer (2017) *Economics of Strategy* 7th edition, John Wiley & Sons (英文教材はこちらで準備)

3年次演習ⅡBでは、(経営学からみた) 経営戦略論の本も主教科書とする(未定)。

2024年度の例

網倉・新宅 (2011)『経営戦略入門』、日本経済新聞出版社

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

(これまで) とくになし。今後はあるかも(未定)

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

とくに傾向はない。コンサル、IT関連、商社、流通、不動産、旅行会社、ホテル・レジャー業関連、銀行、保険、証券、建設、メーカー、公務員、大学院進学など、多岐にわたる。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野は応用ミクロ経済学。とくに産業組織論(誤解をおそれずにいえば、この産業組織論を企業が上手に利用すると、ポジショニング学派の経営戦略論になる。それをみごとにやってのけたのが、マイケル・ポーターという学者。どんな人が調べてみてください!)と医療経済学。

(7) その他

応募にあたって留意してほしいことを書きます。

☞ シラバスも、きちんと読んでください。シラバス上、このゼミの到達目標(の前半)は、以下のようになっています。

「企業の経営戦略(企業戦略・事業戦略)に必要な経済学の初步的な概念を説明でき、それを使って実際の企業の経営戦略や産業組織を分析できるようになる。それらを踏まえ、より実践的な業界分析や戦略立案ができるようになる。」

うまくビジネスを成功させるには、ミクロ経済学的なセンス(経済的な諸関係に対する深い洞察力:たとえば簡単なところでは、自社がつける価格と自社製品に対する需要の因果関係はどうなっているか、少し複雑なところでは、ライバル他社の出方をどう読むかなどのゲーム理論的視点)がけっこう役立ちます。しかし、ミクロ経済学の学習には、抽象的な思考力が要求されます。必ず、ミクロ経済学がどのような学問か、テキスト(私自身の著書を含め、たくさん、出ています)などを手に取ってしっかり調べ、自分に向いているかどうか、じっくりと考えてください。「思ったのと違うゼミだった」ということがないようにしましょう!

卒論を仕上げるまでがんばれる方の応募を望みます。

- 選考は「面接または試験」によります。ゼミでの学びの前提となる、①「日本の経済」などで学んだ基礎知識、②論理的な思考力、③読解力について評価させてください。

中田 有祐ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習 I サマセ	演習 I スプセ	演習 II サマセ	演習 II スプセ	演習 III サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会計入門(※1)		経営入門(※1)	簿記の基礎(※2)
コンピュータと 情報 I	基礎演習 B			財務会計(※2)	

※1：2年前期に履修中でも可（履修登録時の抽選落ちも考慮する）。ただし、面接にて1年次に単位を落とした理由等を聞く。

※2：入ゼミ後に履修でもOK

3年（男）	10人	3年（女）	15人	4年（男）	12人	4年（女）	10人
-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----

(1) テーマ：「財務会計」「企業分析」

会計をただ学ぶだけでなく、それらを用いて実際に企業を分析することで実践力を養います。全体としては会計・経営の知識を活用した企業分析に最も比重を置きつつ、会計理論や周辺領域の勉強もしつつ、外部コンテストなど会計以外のテーマにも取り組みます。

(2) キーワード：

雰囲気は楽しく、学びは妥協せず

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

①授業期間：

2年後期～3年前期までに、教科書（2,000円程度）2冊を用いて、財務会計・財務諸表分析、経営戦略の基礎知識を身につけます。そのうえで、興味をもったテーマについてより深く学んでいきます。

進め方は、担当グループが資料を準備し、全体発表または相互発表を行い、発表に対するグループワーク・フィードバックを行う、という形式が中心です。卒論以外のほぼすべての活動は、グループ単位で取り組みます。また、合同ゼミやコンテストなど大きなプロジェクトの直前には、ゼミの時間外に適宜、グループごとの個別指導も行います。

(参考：2025年度のスケジュール予定)

2年後期：企業分析①(財務諸表分析)、テキスト輪読①(財務会計)、テキスト輪読②/企業分析②(経営戦略)、外部コンテスト①(内容は未定。昨年度はマイナビビジコンに参加)、学内合同ゼミ
3年：企業分析③(経営分析+企業価値評価)、外部コンテスト②(神奈川産学チャレンジプログラム)、外部コンテスト③(内容未定)、4大学インターベンション、学内ゼミ成果発表会、『の～びの～び経済』論文投稿
4年：卒業論文執筆、ビジネスコンテスト④(内容未定)

②春休み・夏休み期間：

2 年次の春休み、3 年次の春休みと夏休みに合宿に行きます（4 年生は任意・有志参加）。合宿では、主に企業を仮想経営する「マネジメントゲーム」を行います。関東近郊で行い、交通費込みで 1 回あたり 3 万円程度です。その他、春休みと夏休みそれぞれ 1~2 回程度、学内でのゼミも行います。

③ゼミ外での学習活動：

外部コンテスト、学内外のゼミとの合同ゼミに参加します（①のスケジュールを参照）。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3 年後期に行う他大学との合同ゼミの報告と学内ゼミ成果発表会での報告について、論文調に整え、グループ論文形式で執筆してもらう予定です。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

中田ゼミは創立 13 年目で、卒業生は 11 期生まで出ています。就職先は、金融業（証券、地銀、信金など）と IT 関連業（会計・金融のシステム）がやや多いですが、その他は、業種・職種はさまざまで特段の傾向はありません。

(6) 教員について(自己紹介等)

研究は、財務会計理論・国際会計に関するテーマが主です。性格はマイペースで、座右の銘は「蓼（たで）食う虫も好き好き」。何事も拒まずに、まずは受け入れる姿勢が肝心と思っています。趣味は、音楽鑑賞（特にメタル）、PC 自作など。聞きたいこと・相談ごとがあれば、気軽にメールで連絡ください。

(7) その他

①複数学年・連コマでのゼミ

先輩・後輩間の交流を深め、また学習内容を深める目的で、複数学年合同・連コマでゼミを行っています。2025 年度後期は、2 年生は金 5・6 限に参加してもらう予定です。（※必修の英語が当該時間に入っている場合は、個別に配慮。）毎週 2~3 コマ連続でのゼミ参加が前提となりますので、注意してください。

②課外活動（飲み会・食事会）

懇親会も随時開催しています。毎年、卒コンや OB・OG 会も開いています。

③ゼミ選択について

ゼミは、サークルやアルバイト以上に大学生活の軸となり、卒業後も関係の続く活動です。ゼミを選ぶ際には、自らの将来を考えるとともに、各種情報源をフル活用して必要な情報をつかんでおきましょう。

学生目線の情報は、学生委員会作成のゼミ紹介冊子やゼミ紹介動画/画像を参照してください。また、ゼミの雰囲気を知るために、個別ブース相談会と公開ゼミへの参加も強く推奨します。

根岸 毅宏ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			財政の基礎	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B				

3年男	12人	3年女	3人	4年男	5人	4年女	11人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	-----

(1) テーマ

根岸ゼミでは、「現代の経済・社会問題」を学び、その解決策を考えます。

ゼミのテーマが「現代の経済・社会問題」と大きなものになっていますが、これは私の学問分野と関係しています。私の専門は財政学という分野で、これは政府の活動や制度・政策を研究する学問です。政府の活動は多岐にわたり、また中央と地方とですみずみに広がり、話題になる経済問題のほとんどに政府が何らかの形で関係しています。政府の政策手段を解説した *The Tools of Government* では、歳入面での租税、歳出面での補助金や貸付のみならず、規制、委託契約、パウチャー、協働などなど、数多くのものが出ています。こうした政策手段を使って、今おこっている経済・社会問題にいかに対応するのか、これらすべてが根岸ゼミでの勉強の対象になります。

各自が興味・関心に合わせてテーマを設定し、勉強してください。

テーマの設定は自由でも、2年次、3年次、4年次で行うゼミの課題は決まっています。以下の（3）に書いてあります。よく読んでください。

(2) キーワード

根岸ゼミの特徴は、ゼミでの学び方も大事にしています。キーワードは、3つあります。

第1は、グループワークです。グループを基本単位として活動します。外部コンテストに参加してグループ論文やプレゼン資料を作成する時だけでなく、卒業論文を書く時も、卒業論文の執筆は個人ですが、スケジュール管理はグループ単位で行います。

第2は、メンター＆メンティー制です。根岸ゼミゼミでは、「タテとヨコ」のつながりを大事にしています。ヨコのつながりをグループワークが意味するなら、タテのつながりはメンター＆メンティー制が意味します。これは、先輩がコーチとなって、後輩を設定した目標に向かって導きます。

第3は、成長のサイクルです。成長するためには、①自ら物事に取り組み、②自分自身が上手くできたと感じ、③他人から評価され（褒められ）て上手くできたことを実感し、④いっそう力を入れて取り組む、を実感する必要があります。この成長のサイクルを、グループワーク、メンター＆メンティー制を通して実感してください。

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年次、3年次は、主として、①外部コンテスト、②学習プロジェクト、③学外の他ゼミとの交流を行います。

①外部コンテストとしては、外部の団体が実施するオープン参加のコンテストに参加します。そのために、グループ論文やプレゼン資料を作ります。外部コンテストで評価を受けて、学習の成果を実感します。

②学習プロジェクトは、ゼミ生が自ら選び本を読み、自分の学習を進めるものです。ゼミ生は読んだ本で一番面白かった部分について、先生になったつもりで、他のゼミ生に教え、自らの学習が進んだことを実感します。

③学外の他ゼミとの交流としては、他のゼミと発表会（プレゼン大会、卒論発表会など）を行います。他大の学生と交流して、視野を広げます。

これらについて、どのように学習すればいいのか、ゼミでの学び方は、メンター＆メンティー制により先輩に相談できまし、時には教えてもらいます。また、いつまでに何をすれば良いのか、ゼミでの学習管理については、グループでの役割分担でしっかりと管理できます。

4年次は、卒論を作成します。卒業論文も、グループでのスケジュール管理を基本としますので、自分だけ遅れることなく、グループのメンバーと同じ歩調で卒論を書き、完成させます。

ゼミ合宿は、ゼミ生同士の交流もかねて、夏休みと春休みに行います。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

1つ上の（3）で書いてあります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

特別な傾向はありません。ほとんどが、第1希望から第3希望くらいまでの企業に就職しています。また、卒業生から就職した後で、メンター＆メンティー制の「教わる・教える」という経験がすぐ役立っているという意見をもらっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

研究テーマは福祉国家財政の研究です。より詳しくは、第1に、アメリカの貧困対策・所得保障政策、政府間関係を研究しています。第2に、日本の社会保険や社会保障の財政問題も研究しています。

(7) その他

①根岸ゼミに向いている学生

ゼミ生同士で相互学習することが好きな学生が向いています。とくに、コンテストに参加する3年次は、授業以外で週に2回程度はチームで集まり勉強します。「グループワーク＝怠けられる」と思っていると、大変な目にあいます。

②課外活動（卒業論文発表会、懇親会、OB・OG会など）

ゼミ合宿以外にも、ゼミ活動の一環として、授業外で行うイベントが年に数回あります。こうした課外活動も含めて根岸ゼミの活動なので、ゼミ生には参加してもらいます。

③質問は大歓迎です。公開ゼミの時か、メールで連絡ください。



芳賀 英明ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A				
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	8人	3年女	12人	4年男	7人	4年女	12人
-----	----	-----	-----	-----	----	-----	-----

(1) テーマ

消費者の視点から学ぶマーケティング問題 -学術および実務から消費者を理解する-

(2) キーワード

マーケティング、消費者行動、新製品開発、広告コミュニケーション、ブランド戦略、マーケティングリサーチ

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

芳賀ゼミは「マーケティング」のうち、消費者がなぜ買うのか、いつ買うのか、何を買うのか、どのように買うのかについて「消費者行動論」といった心理学と関連の深い分野を中心に研究を深めていきます。その上で、“マーケター”に必要とされる様々なスキル(情報収集力、分析力、企画力、プレゼンテーション力)を実践的に身につけていきます。ゼミでは、**丁寧なフィードバックを行い、学生一人ひとりの成長に繋げることを大切にしています。**

ゼミの進め方としては、基本的に学年ごとに取り組みます。ただし、先輩・後輩の交流を深めるため、年に数回になりますが複数学年合同・連続コマで取り組む予定です。

また、芳賀ゼミでは、学生自身がイベントの企画や運営に関わる機会も多くあります。これまでに、先輩のゼミ生たちがリーダーシップを発揮してゼミ合宿、懇親会、ゼミ募集などの様々なイベントについて設計・実施に取り組んできました。**“自分たちで場をつくっていく経験”を重視する学生にとって、やりがいのある環境となっています。**

■演習ごとに取り組むテーマ(予定)■

演習Ⅰ

・ゼミ生は消費者の視点からマーケティング問題の基礎についてグループ研究を通して学びます。

→マーケティングないし消費者行動の実務および学術でよく利用するマーケティングリサーチ(特に、定量調査)の実習を行います。具体的には、分散分析(特に、二要因)、回帰分析、因子分析、クラスター分析に取り組みます。グループ毎に好きなテーマを決め、調査・分析の後、プレゼンテーションをしてもらいます。テーマ例として、キャラクター(アンパンマン、サンリオ…)のイメージ、スターバックスのフラペチーノのイメージなど。

※統計学初心者でも安心してゼミを応募してください。このゼミでは、基礎から応用まで段階的に学べるようにカリキュラムが組まれており、わからないことがあればいつでも質問が可能なサポート体制を整えています。統計学の経験は問わず、積極的に学ぶ姿勢を持つ学生が成長できる環境を提供していくゼミです。

演習ⅡA・ⅡB

- ・ゼミ生は消費者の視点からマーケティング問題の発展についてグループ研究を通して学びます。
→【学術】学術的な先行研究を踏まえ、自分たちの興味・関心のあるテーマのもと、マーケティングリサーチのうちの定量調査に基づいた実証研究についてプレゼンテーションをしてもらいます。本年度の公開ゼミでは、**推し活の消費行動、疑似科学と消費、カラーマーケティング、不快感を覚える広告などを予定。**
- 【実務】産学連携による商品開発・共同研究に取り組みます。先方の都合もあるため、現時点で何をするかは未定です。これまで、メーカー(ファッション)やテレビ局などとコラボをしてきました。

演習Ⅲ

- ・ゼミ生はマーケティングのうち、消費者行動領域に関する自らの興味・関心のあるテーマのもと、マーケティングリサーチに基づく卒業論文の執筆に取り組みます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）特にありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

コンサルタント/専門コンサルタント、マーケティングリサーチ、銀行、メーカー(ファッション)、公務員などです。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門はマーケティングのうち、消費者行動論。趣味は、旅行、珍しい海外料理の食べ歩き、スポーツ観戦(特に、高校野球)、甥っ子と遊ぶこと(実際は遊んでもらっている？？)など。好きなキャラクターはスヌーピー。

「知りたい方も、変わりたい方も、まだ迷っている方もー。芳賀ゼミは、共に学び、共に成長できる場です。」

(7) その他

■求める人物像■

- ①知的好奇心と行動力を持ち、自ら学ぼうとする姿勢がある人
 - マーケティングや消費者行動に関して、実践を通して深く理解しようとする姿勢を保てること
- ②ゼミ活動に積極的に関与しようとする意欲がある人
 - 研究活動だけでなく、ゼミ合宿・懇親会などにも主体的に参加し、ゼミ運営や雰囲気づくりに貢献すること
- ③協調性を持ち、ゼミという“場”的一員として他者と良好な関係を築ける人
 - 自由度の高いゼミだからこそ、報連相や共同作業を大切にし、教員や他のゼミ生と信頼関係を構築すること

■ゼミの詳細■



濱田 高彰ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習 I サマセ	演習 I スプセ	演習 II サマセ	演習 II スプセ	演習 III サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済理論入門	
コンピュータと情報 I	基礎演習 B			経済経営数学入門	

3 年男	12 人	3 年女	9 人	4 年男	12 人	4 年女	1 人
------	------	------	-----	------	------	------	-----

(1) テーマ

このゼミでは、ゲーム理論や行動経済学を用いて、独自の理論モデルの作成や模擬実験による分析を行います。ゲーム理論は、「人々による駆け引き」を記述する理論であり、行動経済学は、ヒトのいわゆる「非合理性」（認知の歪みや近視眼性など）や「他者に配慮する性質」（利他的行動など）について探求する学問です。これらの理論は、ごく身近な出来事（日常の意思決定や友人・家族・恋人との関係）から企業間や国家間の出来事まで、非常に広範囲にわたる人間行動や社会現象を分析対象としています。それゆえ、ゼミ生は豊富な選択肢の中から関心のあるテーマを設定することができ、自由に分析を進めることができます（真面目なネタもよし、キャッチャーなネタもよしです！）。独自のモデル分析などを通して、身の回りや社会に起こる現象の背後にある仕組みを、自分の頭で考え、捉えられるよう訓練をしていきます。

またこのゼミでは、グループでのタスク遂行やゼミ生同士のコミュニケーションを重要視するほか、発表資料やプレゼンの方法などについても適宜フィードバック・ふりかえりを行います。これらを通して、社会人基礎力も養成していきます。

(2) キーワード

ゲーム理論、行動経済学、理論分析、実験デザイン、模擬実験、統計分析

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

【2・3年次】

普段のゼミは、以下の流れで実施します（以下の内容を3回の授業に分けて実施します）：

- (i) 教科書の指定部分を参考に、まずは各自でテーマを設定した上で独自のモデルや実験デザインを作成し、グループ内で発表し合う
- (ii) 各自の発表をもとに、グループで1つの成果物を作成する
- (iii) グループの成果をクラス全体で発表する3回分の授業を用いて1つのプロジェクトを行い、半期で合計4つのプロジェクトを実施します。また学期末には、それまでに作成した成果物の中から1つを選択し、グループで更なる改良を加えた上で、レポートにまとめてもらいます。

【4年次】

卒業研究に取り組みます。2・3年次に身につけたスキルを活かして、理論分析や模擬実験による分析を行ってもらいます。基本的には個人ワークですが、定期的にゼミ生同士で進捗を報告し合うなど、各自の研究について全員で議論します。

【研究発表大会、その他の活動（合宿やイベントなど）】

学内外の研究発表大会等に参加する可能性があります。またその他の活動（合宿やイベント等）については、ゼミ生の希望に応じて実施します（この点については、慣例を作るつもりはありません）。有意義なゼミとなるよう、各年代で主体的に考え、独自の文化を作っていただけたらと思います。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

【2・3年次】 上述の通り、各学期末にグループによる最終レポートを提出してもらいます。

【4年次】 前期末に卒業論文のテーマおよび簡単な分析結果を提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

着任1年目であるため、実績はありません。

(6) 教員について(自己紹介等)

「ゲーム理論」や「行動経済学」に関する理論・実験研究を行っており、主に「社会的選好」と呼ばれる「ヒトの他者を考慮する様々な性質」と、それに関連した戦略的状況に関心を持っています。最近では、「顯示的消費」や「望ましいチーム構成」について理論的な分析を行っています。

出身は兵庫県で、小中高はサッカーをしていました。大学時代は経済学の勉強を頑張りつつ、学習塾でのアルバイトや小学校の野外活動の補助員などもしていました（昔から教育に关心を持っていましたように思います）。趣味は歌うこと、YouTube鑑賞（ダラダラと…）、フットサル、お笑い全般で

す。

(7) その他

ゼミでは、まずは楽しんで活動してもらいたいです。樂しければ意欲も湧いてくるでしょうし、学びも多くなるでしょう。この意味で、「グループメンバーとうまく交流すること」、そして「分析のテーマ選択」が重要だと考えています。ゼミが楽しくなるようなイベント等も、ぜひゼミ生同士で色々と企画してください。

また、1つのテーマをとことん極めるという経験をしてもらいたいです。もちろん各プロジェクトにおいて時間は限られますが、完成した（と思っている）成果物に対して、「何か欠点はないか（どんな批判が来そうか）」「もう1つ2つ追加で面白い分析ができるないか」など、とことんメンバー同士で議論してみてください。ゼミで「考え抜いた」経験が、今後の皆さんのが糧となることを期待しています。

林 行成ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習 I サマセ	演習 I スプセ	演習 II サマセ	演習 II スプセ	演習 III サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済理論入門	
コンピュータと情報 I	基礎演習 B				

3 年男	5 人	3 年女	2 人	4 年男	人	4 年女	人
------	-----	------	-----	------	---	------	---

(1) テーマ

当ゼミのテーマは、「医療から日本の経済社会を考える」です。

日本の国民医療費は現在約 45 兆円。この金額だけみても、医療産業は GDP の約 8% を占める巨大産業です。そして、高齢化が加速するこれからの時代、医療はまさに日本の重要な成長産業と言えます。しかし、医療は持続可能性に大きな問題を抱えています。このゼミでは、医療の問題を経済学的な分析を通して、みなさんと検討していきたいと思います。

ただし、その前提として経済分析のスキルがどうしても必要です。ゼミを通して、経済分析の基礎（経済理論とデータ分析による実証）を修得し、論理的な思考技術を高めながら、医療を中心軸に日本のこれから社会のあり方を、広い視野と精緻な分析を通して検討していく、社会で役立つ人間力を皆さんとともに高めていけるようなゼミにしたいと思います。

(2) キーワード

医療経済学、社会保障論、ミクロ経済学、ゲーム理論、産業組織論

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

【2 年次】

ミクロ経済学やゲーム理論などに関わる入門書を輪読し、基礎的な経済分析のスキルを身に着けていきます。数学的なハードルがある場合には、適宜数学のテキストなどを用いて、数学的分析能力も高めていきます。

輪読では、毎回担当者にプレゼンテーションをしてもらい、議論しながら、メンバー全員で理解を

定着させていきます。輪読するテキストについては、メンバーの希望も踏まえて決定します。

【3 年次】

医療経済学に関する専門書を輪読し、医療問題や医療制度の理解を深めつつ、経済分析を通して問題の本質を踏まえた解決方法について議論していきます。テキストを読みながら、その都度分析手法に関する理解も深めていき、本質的に問題をつかみ分析できる力を修得することを目指します。

また、各自で興味のある問題に対して、プレゼンテーションやディスカッションも行いたいと思います。前任校では、ビジコンへの参加、企業や病院の調査、学会への参加・研究発表なども行いまし

た。座学だけでなく、リアルの現場を見て感じて理解するような場も設けたいと思います。

【4 年次】

卒業論文の作成に取り組んでもらいます。テーマは経済分析の対象となるようなものであれば何でも自由に選んでもらって構いません。適宜、研究内容をプレゼンしてもらい、メンバー全員で意見交換を進めながら、卒業論文を作成してもらいます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

現段階では具体的に考えていませんが、ゼミで扱う何かしらのテーマをもとに、レポート作成とプレゼンテーションをしてもらうと思います。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

着任1年目ですので、本校での実績はありません。

なお、前任校では、医療関係の学科に所属していたこと也有って、当ゼミの卒業生は医療分野での就職先が多い傾向にありました。例えば、国立病院機構、日本赤十字社、各自治体の公立病院といった大規模病院の経営スタッフ、アストラゼネカ、ベーリンガー・インゲルハイム、ブリストルマイヤーズ・スクイブなど大手製薬企業、デロイト・トーマツといった大手コンサル企業などが主な就職先として挙げられます。OB/OG のうち 3 名は起業

していて、医療系M&Aコンサル企業や、旅館M&Aといった事業を展開しています。

就職先は皆さんが決めるもので、私自身は医療分野に就職して欲しいということはありません。医療関係に興味がある人も、そうでない人も、皆さんが自分の将来をしっかりと考え、幸福になれる進路を選べるようサポートしたいと思います。なお、私自身が公務員試験（現在の国家公務員採用総合職試験）を経験しているので、公務員指導には対応できると思います。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門は、医療経済学、産業組織論です。医療制度・政策、医薬品産業、病院経営を経済学的に分析するような研究活動をしています。最近では、特に医薬品産業の経済分析や公立病院の経営経営分析を行っています。

栃木県宇都宮市で生まれ、鹿児島県鹿児島市で育ちました。大学進学で東京に上京し、大学卒業後に国家公務員I種試験（経済職）に最終合格しましたが、経済学者になりたく大学院に進学しました。大学院時代には大手公務員試験予備校で講師をし、ミクロ経済学やマクロ経済学を中心に教えていました。

大学教員として広島国際大学に赴任し20年間の広島での生活を経て、2024年4月に國學院大学に赴任しました。趣味は、飲食、音楽、車、旅行などで、東京に再上京したのを機に、関東、東北も巡りたいと思っています。

(7) その他

私のゼミに対する考え方を、偉人たちの言葉を借りて示したいと思います。

1. 「すぐに役に立つものは、すぐに役に立たなくなる」

人間は易きに流れやすく、目先の利益を追いかがちです。しかし、長期的な視点で考え行動できることが、人生や企業の成功のための大きな要因の1つだと思います。このゼミでは、こうした長期的な視点から論理的かつ戦略的に考えるチカラを、ゼミ活動を通して育成できればと思っています。

2. 「God is in the details. 神は細部に宿る」

何事も細部に神は宿ります。ごまかすことなく、人の見ていない細かいところにこそ、手を抜かず取り組むことが大事です。ゼミでも、細かいところに手を抜かないという心構えを持ち、常に前向きに向上心を持って努力し続けられる人を歓迎します。

3. 「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」

道徳心と経済学的な思考技術は、経済に生きる我々にとってどちらも欠かせないものです。このゼミでも、論理的で分析的な議論をしながらも、高い道徳心と社会貢献意欲を持って、社会や自らを考え成長できる場にしていきたいと思っています。

藤山 圭ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○		

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	経営入門		経営戦略	経済理論入門
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B			経営組織	

3年男	8人	3年女	2人	4年男	6人	4年女	6人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

経営学に関連する社会科学諸領域

(2) キーワード

戦略論, 組織論, イノベーション, マーケティング, 社会科学

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

企業経営に関連した社会現象を自分なりに分析し, 説明できるようになるための, 多様なフレーム

ワークの学修と具体的な事例分析を両輪としたゼミナールである.

経営学を学修する目的の一つは, 現実の社会 (とりわけ経営に関する社会現象) の動きに対して自分なりの読みを生成できる実務家になることである. そのためには, 理論を学び, 実際にそれを使つ

て分析し、フィードバックを受けるという理論と現実の往復運動が必要である。本ゼミナールでは経営学的な力量を身に着けるために、この一連のプロセスを行う機会を提供する。

2年次は、輪読と事例分析が両輪となる。輪読では主に社会学・心理学・経済学等の文献を読む。

経営学に関連するレクチャーをゼミでも若干は行うが、原則として概念やフレームワークの習得は講義を活用する。 多分今年は心理学か社会学の文献。

2年次後半から3年次はもう少し難しい書籍や論文を輪読し、論文の書き方や調査のまとめ方を含めた学修を進め、並行して個人研究（企業や商品、サービスの事例分析等）を行う。3年次は、参加したければ外部のビジコンへの参加をバックアップし、12月にはゼミ成果発表会に参加する（※）など、成果を対外的に公表する機会が増える。これらを通じて4年次に卒業論文の執筆を行うための分析力・思考力を磨く。

正課授業以外の予定としては、夏に3泊の合宿（2・3年次のみ）、懇親会（不定期）。2年次の春休みには2週に1回のペースでスプセ、11月頃にはOBOG会（2~3年ごと）。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習I：輪読レポート、事例分析レポート。

演習II：輪読レポート、事例分析レポート、ゼミ成果発表会、ゼミ成果発表会要旨（※）。

※2025年度からグループワークを実施しないため、ゼミ成果発表会に出られるか未定。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

銀行, 不動産, 保険, 専門商社, 製薬, 公務員, 家業の承継, 小売り, コンサル, メーカー, IT 等,
これといった傾向はない。

(6) 教員について(自己紹介等)

主な研究テーマは, ゲーマーコミュニティを対象としたコミュニティの生成・発展や, 技術継承,
組織アイデンティティ, ブランド認識, 集合的創造性等。

オタクで根暗で人間嫌いなので, 社会とのかかわりを出来る限りなくそうと努力しています。趣味
はデジタル・アナログゲーム全般と映画, カメラ, 料理, 漫画, 野球, ジオラマ作りなど。怖いとか
厳しいという噂があるので, 応募しない方がいいと思います。

(7) その他

①コマについて

複数学年合同で開催する。公開されている開講時間の前後 1 コマにはできるだけ授業を入れないよ
うに。原則として 2 コマ連続で参加することが前提となる。7限目までもつれこむこともまあまあ
あるので, ゼミ後に予定を入れないこと。

②単位取得について

卒業までに「経営戦略」「経営組織」「イノベーションマネジメント（経営学科の学生のみ）」の履修
（単位取得ではなく）をしていない場合, ゼミの単位は認定されない（これはその講義で扱う概念を
一通り理解しているということであり, それら科目的単位がとれたかどうかはあまり重視しない。と

れたほうがいいに決まっているけれども). 欠席回数+課題未提出の回数(理由の如何をとわない)が4回以上の場合、R評価となる。

③ゼミのスタンス

ゼミナールは、大学生活で最も優先しなければならない活動である。アルバイトやサークル活動、旅行、就職活動、帰省、デートなど学生にはやらなければならないことが多く存在しているが、ゼミナールはこれらに優先される。これは、ゼミが大学における学修の中心的な位置づけであるからである。この思想に共感できることが入ゼミの条件である。

知的に楽しいゼミにはしたいが、ゼミ生同士の仲が良い一般的な意味での”楽しいゼミ”になるかは学年のカラーラー次第。藤山個人としてはスタンドプレーを推奨し、結果的にそこから仲間意識が生じるならば大いに結構であると考えている。

2025年度からは、グループワークを実施するつもりはない（なんらかの課題に集団で取り組むことを意味しており、集団での活動が一切ないわけではない）。

④藤山ゼミを選択肢に入れている人へ

先に述べたように、藤山ゼミは経営学全般のゼミであり、藤山の気分次第でどういう書籍を読むかが変わるために、「事前に何を勉強したいかが確定している人」にはミスマッチが生じる可能性がある。これには、「経済学が合わないから経営学がいい」という人も含まれる（経済学の本を読む可能性があるため）。一方で、「勉強はしたいが何を学ぶべきかが決まっていない人」「おおざっぱにこの領域を勉強したい人」には合うかもしれない。また、藤山は根暗で陰湿な皮肉屋であるため、こういう人間を師匠にしても問題ないと判断できる人のみ応募してくるのが望ましい。入ゼミ後のミスマッチを防ぐためにも、本当に入ゼミを考えている人は、一度は藤山かゼミ生と話しておくことを推奨する。

⑤藤山ゼミに適した人・適さない人

謙虚な人、知的好奇心がある人、勤勉な人、ひねくれ者。協調性や外向性はあるにこしたことはないが、なくてもいい。自分の力量を鍛えることを優先できない人はマッチしないし、指導するモチベーションも湧かないので、本当に来ないでください。お願いします。

⑥メッセージ

一般論として、ゼミは単位取得効率の悪い授業です。楽に卒業要件を満たしたい人には向いていません。また、ゼミに所属して勉強するよりも就職活動等に多くの時間を使った方がいい人もいますし、少なくとも短期的には勉強に時間を使うことの意義がイマイチよく分からない人もいると思います。なにより、ゼミに所属せずとも卒業自体はできます。周りに流されてなんとなくゼミに入るよりは、提供されるものと自分の志向性がマッチするゼミを丁寧に探索し、場合によってはゼミに入らないことも選択肢に入れることをお勧めします。

星野 広和ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	経営入門		経営学史	経営戦略
コンピュータと 情報I	基礎演習B			経営組織	マーケティング の基礎
				会計入門	

3年男	11人	3年女	9人	4年男	9人	4年女	15人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	-----

(1) テーマ

現代企業の経営課題とその理解 一事業の創造、リーダーシップ、成長の戦略、戦略の転換—

(2) キーワード

社会科学、経営学、経営課題、理論と現実の同時理解

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

本演習では、企業経営をめぐる諸問題に関して、社会科学の思考法をベースに、経営に関する基本的な諸概念、ロジックを学習したのち、その分析枠組みについてできるだけ具体的なケースを踏まえつつ理解する。その際、特定の専門分野のみを学習するのではなく、「経営学」全般（経営管理、経営組織、マーケティング、財務会計等）の知見はもちろん、場合によっては「心理学」「社会学」「経済学」「歴史学」などの知見を踏まえて「総合的」に学修する。

2年次は企業経営の全般的な問題について、特定の時代や場所に依拠しない一般的・普遍的なものを意識して取り上げる（『小倉昌男 経営学』）。3年次は「神奈川産学チャレンジプログラム」への参加を通じた実践的な「課題解決型学習」（Problem Based Learning）に取り組む。3年前期の演習は、このプログラムでの取り組みにおいて参考となる基本ロジックとフレームワークを含んでいるので、レポート作成と同時並行的に進め相互理解を深めていく。3年後期の演習では、「ゼミ成果発表会」に向けてグループに分かれ、研究およびスライド作成を行う。これによって、「理論と現実の同時理解」を目指すとともに、4年次の「演習ⅢA・B」（卒業論文）へ向けた基礎的知識やフレームのインプットとして位置付ける。以上についての詳細ならびにゼミの進め方についてはシラバスを参照されたい。

なお、正課授業以外として、懇親会（半期2回程度）、OB・OG会（年1回）を実施している。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習ⅡAでは、神奈川産学チャレンジプログラムの報告書を作成する。演習ⅡBでは、ゼミ成果発表会に向けてテーマに関して具体的な事例を踏まえたレポートをそれぞれグループ単位で作成する。いずれも A4用紙15枚（図表、参考文献含む）以上が目安。

(5)先輩たちの主な就職先と傾向

メーカー（電機・飲料・食品など）、金融・証券（カード含む）、保険、不動産、小売、卸売（専門商社）、アパレル、サービス、IT、広告、マーケティング、コンサル、航空、鉄道、税理士事務所、小学校教諭等、業種の傾向はあまりない。具体的な企業名が知りたければ直接尋ねてほしい。

(6)教員について(自己紹介等)

山形県川西町出身。専門は経営管理論、経営組織論、経営戦略論。座右の銘は、「祖国があなたに何ができるかを問うのではなく、あなたが祖国に何ができるかを問うて欲しい。」(by John F. Kennedy)

(7)その他（ゼミ希望者へのメッセージ）

【大学およびゼミでの学び】

①常に問題意識をもち経営の現象や問題と結びつけること、②問題を発見・解決するための知識や情報を自分自身でサーベイ（専門書、論文、データ、調査等から）すること、③自分の主張について根拠を持って説明すること。何より、「自ら研究したいという強い欲求をもつこと」が大前提である。

【ゼミの捉え方】

ゼミは「専門テーマを学ぶ場所」だけでなく、「他者と協働して根気強く共通テーマに取り組む場所」でもある。また、人間性や道徳性を高める「人格を陶冶する場所」として捉えて欲しいし、結果として社会的に有用な人材輩出ができるように鍛えるつもりでいる。最後に、2年半の演習で完結するのではなく、その後も何らかの形でゼミとのつながりを維持してくれることを期待する。



【令和7年度】星野ゼミ エントリー受
オーム



細井 長ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	世界経済入門	経営入門		
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B	経済理論入門	1年必修英語4 個		

3年男	人	3年女	1人	4年男	2人	4年女	2人
-----	---	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

「グローバル・エコノミーとビジネス－新興国市場攻略の戦略」

国際経済と国際経営の分野で各自が関心をもっているテーマを個人で深めていくことがこのゼミのスタイルです。現3・4年生は途上国工業化、途上国貧困問題、国際HRMといった関心領域を各自もっています。

(2) キーワード

国際経済 途上国経済 国際経営

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期は統一テキスト(英語文献)を用いて、3年以降に備え基礎知識の定着、読書習慣の確立、文献の探し方などアカデミック・スキルの涵養を図ります

3年以降のゼミについては学年合同2時間連続となり、自分たちで進め方を決めてもらい、個人のテーマも自分で設定することになります。夏休みにはゼミ合宿を行います。後期は両学年共に卒論に向けた報告が中心になります。そして、4年の終わりには卒論を書き上げます。

なお、夏合宿は国外で実施します(3年と4年の2回、違う国)。現地では関係機関、企業の訪問・視察を行います(企業以外では、だいぶ前に、日本人学校を見学させてもらったことがありました)。机上の勉強だけではなく、実際に経済・経営の現場を自分の肌で実感する貴重な機会です。今夏は9月にインド・デリーに行きます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

3年終了時に10,000字程度の3年次論文を提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

就職率100%を初代から継続中です。業界は様々。珍しい就職先としては、政令市中学校の社会科教員(経済学部では十年に1人レベルの現役合格)や、一般企業就職後に公認会計士の資格を取得したOBがいます。

また、毎年秋にOB会があり色々な話を聞くことができるとともに(OB会だけでなく随時、顔を出してくれたりします)、タテのつながりも強めています。卒業後もOB会があり、現役ゼミ生のサポート、また学年を超えて交流があり、「大人のゼミ合宿」をしたりしている代もあります。こういうことが嫌いならば、他のゼミに行きましょう。

(6) 教員について(自己紹介等)

2006年に着任、担当する授業科目としては「世界経済入門」、「国際経済」、「国際経営」などです。

(7) その他

- ・日本でも星野リゾートのように喫煙者の採用をしない企業が増えてきています。こうした状況に鑑み、選考の際、喫煙者のプライオリティは最下位にします（なお、2010 年にこの方針を打ち出して以降、これまで喫煙者でこのゼミに合格した人はいないことを申し添えます）。
- ・卒業までに「国際経済」、「国際経営」の単位は必ず取ってもらいます。両科目を取れない場合、ゼミをクビになります。また、卒業までの 2 年半を継続して取り組めることも条件とします。
- ・個人テーマの設定は自由ですが、それに取り組むにあたっての基礎は重視しています。筋トレをしつかりやります。つまらないかもしれません、スポーツ選手で筋トレを疎かにする人はいませんよね。基礎演習のようにグループワークで上辺だけの「勉強ごっこ」をして「勉強した気分になる」スタイルではないので、そういうやり方を好む場合は他のゼミに行ってください。しかし、しっかり取り組むと自分自身が何倍も成長して卒業できることは間違いない、それが不況時でも安定した就活の結果につながります。そして就職後も勉強の仕方を知っていることはものすごく役立ちます。
- ・提出書類について:1 次選考(第 1 希望)の人は K スマ・アンケート機能の「1 自己紹介、2 志望理由」を書く必要がありません。空白はだめっぽいので、「あ」とだけ入力してください。こういう自己紹介や理由はつまらないので必要ありません。お互い時間の無駄です)。K スマでの登録締切前(5/20)までにメールにてエントリーシート(エクセル形式、A4 で 1 ページ程)を事前に請求し、それを記入して、成績情報と合わせて 5 月 20 月までにメールで送ってください(詳細はエントリーシートに記載しています)。不本意だと思いますが、2 次選考以降に割り当てられた人は K スマ・アンケート機能 1 と 2 両方記載のうえ(このゼミだけではなさそうなので)、メールで事前にエントリーシートを請求し、記入した上で成績表と TOEIC 等のスコア表(2024 年 5 月以降に受験したもの。ITP 可)。

1年夏に全員受験させられたウェブテストの TOEIC を除きますが、スコアは尋ねます)、1次応募のゼミに提出した課題の合わせて 4 つのファイルを指定締切時間までにメールで送ってください。このゼミでは英語文献を用いるため、他のゼミに未練がなく意欲が確実なこのゼミを第 1 志望とする人以外には能力の確認の意味でこのやり方を取らせてもらいます。また、世界経済入門、経営入門、経済理論入門、1年次必修の英語 4 科目の単位を修得していない人は対象外です(特別な事情がある場合は事前に申告・相談してください)。世界経済入門については、経済学科の学生のみ 1 年前期の評価が R であった場合は、1 年後期に単位を取っていても対象外です。普通にすれば問題ないレベルですが、1 年次の GPA も見ていています。なお、エントリーシートは、2 次以降であっても学生からの請求方式で、自動的に送られてくるものではありません。請求は時間に余裕をもって行ってください。

細谷 圭ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
—	—	—	—	—

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			経済理論入門	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B			経済経営数学 入門	

3年男	11人	3年女	5人	4年男	9人	4年女	4人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

当ゼミではマクロ経済学を中心に幅広く学んでいきますが、なかでも長期にわたる経済問題を対象とした経済成長の理論分析と実証分析に焦点をあてます。加えて、わが国の長期的経済動向に重大な影響を及ぼしてくる社会保障問題についても、計量経済学的なアプローチをまじえながら多角的に取り扱います。マクロ経済学やミクロ経済学を深く学びたい人、統計・計量分析ソフトを用いた実証分析に興味のある人、上級の公務員試験の合格を目指す人、研究者やエコノミストの養成を目的とした高度研究型の大学院への進学を目指す人などに特に向いているゼミです。

(2) キーワード

マクロ経済学、動学マクロ経済学、日本経済論、応用計量経済学、社会保障論、COVID-19

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

【2年次】

- 日本経済論、社会保障論、経済統計分析の基礎的なテキストの輪読・精読を通じて、学問内容の理解とあわせて効果的なプレゼンテーションの技法を身に付けます。また、レジュメの作成状況についてもチェックし、質の高い学びを目指します。なお、過年度は、学生にテキストを選択してもらい、日本経済論について幅広く学びました。

【3年次】

- マクロ経済学の定評ある英文テキストブックについて、1年をかけて丹念に輪読していきます。この1年間の学びがこのゼミの学びの中核部分になります。

【4年次】

- 卒業研究に集中的に取り組んでもらいます。経済理論、統計的手法を用いたものならば、テーマは基本的に自由です。

(4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

チーム分けをして、具体的なテーマについて調査・研究し、プレゼンを行ってもらう可能性があります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

平成 29 年度着任のため、平成 31 年 3 月にはじめて卒業生を送り出しました。國學院での卒業生はまだ 6 期です（多くの人が金融機関、商社などの民間企業に進んでいますが、最近は公務員で東京特別区が人気で複数名おり、R 6 年度は某区 1 位合格もいました）。

前任校（東北学院大学）では、公務員（国家公務員、地方公務員等）、民間企業（メーカー、金融機関、商社等）、高校教員、国立の研究型大学院進学とさまざま。比較的公務員が多いのが特徴でしたが、そのための対策等をゼミで行ったことはありません。闘魂注入のみ。

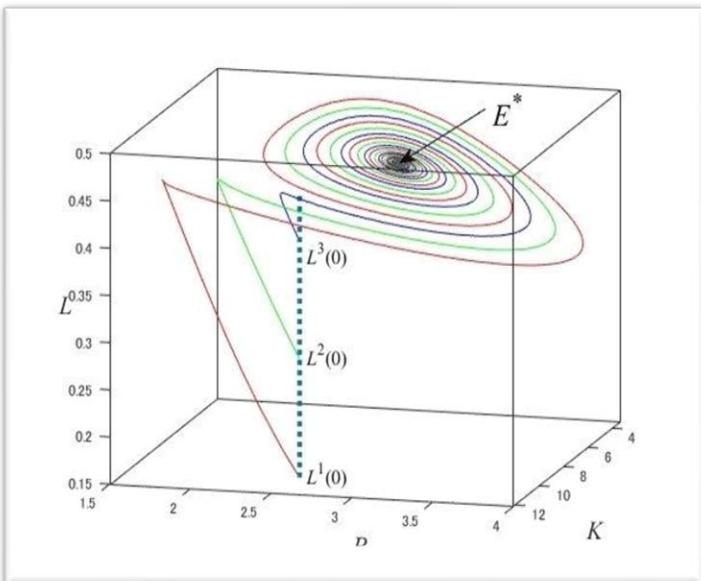
(6) 教員について(自己紹介等)

岩手県陸前高田市出身。博士（経済学、一橋大学、平成 15 年 3 月）。岩手→仙台→東京（国立）→仙台とわたり歩き、平成 29 年春から國學院に赴任しました。主専攻は動学マクロ経済学、副専攻は公共経済学です。理論だけでなく計量分析も行います。最近は COVID-19 に関する研究に特に注力しています。執筆した論文や書籍を知りたい方は、ネットで氏名を検索するとすぐにいろいろ見つかります（元プロ野球選手の方に迷い込まないように（笑））。

好きなこと（もの）は、車の物色や運転、オフロード RC カー製作、昔の TV ドラマ、盛岡じゃじゃ麺店・ラーメン店（家系等）・蕎麦店・居酒屋めぐり、小旅行（帰路が楽な所）、古書蒐集、（舌の上に稻妻が立つ）ビールを飲みつつ論文を書いたり、論文の点検をしたりすること。スポーツは何でも好きですが最近は全くです。減量目的でよく歩いていますし（並木橋～代官山～恵比寿～渋谷橋～大学のコースが定番）、筋トレもやっていますが効果は明瞭ではありません。

(7) その他

- 良識ある善良な市民を育成したいです。
- 胆力の備わった人間を育成したいです。
- 少し難しいかなというくらいの高い目標を掲げて努力を惜しまない人を応援します。
- 学年横断的で一体感のあるゼミを目指しています。



左の図は、最近私が関心を持って研究を進めている環境マクロ経済学において、著名な先行研究である Antoci et al. (2022, *European Economic Review*, Vol. 143, 104023) モデルの興味深い解軌道を数値解析によって再現したものです（ゼミの雰囲気を知る写真は学生作成の案内冊子をご覧ください）。

堀江 優希ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	経営分析		会計入門	財務会計
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B			企業財務	

(1) テーマ

会計・経営戦略・ファイナンスの視点から企業の「決算書」を読み解く

(2) キーワード

情報開示、財務会計、コーポレート・ファイナンス、簿記、経営戦略

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

- ・財務会計・経営戦略・ファイナンスのテキストを精読し、その要約を発表する。
- ・好きな企業を2社選び、経営分析を行い発表する（個人またはグループ）。

※ゼミの時間外に、テキストの精読や経営分析などの事前準備が必要です。

企業の決算書を読み解くことで、企業が抱える問題を発見し解決策を提示する等、課題発見・問題解決能力を身につけます。さらにテキストの精読や発表・ディスカッションを通じて、論理的な思考力やプレゼンテーション能力を養成します。

令和8度開講のゼミであるため、合宿などの課外活動についてはゼミ生で相談して自由に決めていく予定です。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

令和8年度に着任した為、本学での実績はありません。前任校では、金融機関への就職希望者が比較的多く、会計専門職（税理士等）の志望者も一定数おりました。卒業生は金融機関（銀行、信用金庫）のほか、ディーラー、農協、会計専門職大学院など幅広い業種・進路に就職・進学しています。ゼミでは会計や簿記の専門知識を身につけることができるため、会

計の専門職（税理士・公認会計士）や公務員（国税専門官等）、経理（業界問わず）などへの就職もサポートします。

(6) 教員について（自己紹介等）

専門は、会計とコーポレートファイナンスで、情報開示に関する研究を行っています。最近の関心は、フェア・ディスクロージャー・ルールの役割・実態・影響や、経営者や証券アナリストが開示する業績予想の役割・影響などです。趣味は音楽で、ピアノ・フルートを演奏する他、色々なアーティストのライブに行きます。

(7) その他

会計・経営戦略・ファイナンスについての知識の有無は問いません。何事にも積極的に取り組む意欲ある学生さんを歓迎します！

水無田 気流ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A			ジェンダーと経済	経済と社会参加
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B			身体文化論	社会科学入門

3年男	12人	3年女	4人	4年男	11人	4年女	7人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ

私たちが日ごろ目にする衣服や建築等のデザインは、社会の身体観や人間観を表現しています。この演習では、「身体」を切り口に社会の「今・ここ」を検証します。一見個人的な出来事に見えることがらを社会構造と結びつけて考察する力を、C. W. ミルズは「社会学的想像力」と呼びました。本演習では、この社会学的想像力を身につけるために、現実の多様な事例を取り上げます。

たとえば、ファッション・建築・日用品等がいかにしてそのような美的な価値をもつに至ったのかやそれらがいかに消費市場やマーケティングの対象となるのかの検討、スポーツ・ロボット・映像表現等身体技法や身体感覚についての先鋭的な事例研究、ゲームやアニメなどのサブカルチャーやメディアに見られる美的表現の解説、身体観とジェンダー・セクシュアリティーの関係、さらにバリアフリーやユニバーサルデザインといったデザインが提起する、「美しい」「健康的な」身体観のはらむ問題の再考などが、射程範囲となります。

「身体はすべての人間に共通したものである。人間の住んでいる社会的条件だけが変化する。そこで、人間の身体に基づく象徴は、さまざまな社会経験を表現するのに用いられるのだ」とは、文化人類学者メアリー・ダグラスの言葉です。このように身体とは、生理的・自然的な条件であるとともに、ローカル文化特性や社会的側面を色濃く反映したものです。これらの検証を通じ、各自が多様な学問的興味・関心を見出し、今日の文化と社会の特性を研究することが、本演習の眼目となります。

(2) キーワード

メディア、ジェンダー、消費、身体の文化社会学

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

1) 演習Ⅰ (2年後期)

・消費社会論や文化社会学についての基礎知識を身につける。教員による講義の後、その内容についてディベートを行い理解度を測る。

- ・テキスト読解に取り組む。各担当ページごとに報告者と座長を決め、報告と討議を行う。

2) 演習Ⅱ（3年生）

- ・アカデミック・ライティングの基礎を学び、その後ワークショップ形式のクリエイティブ・ライティングを行う。
- ・ゼミ論テーマを決定し、報告を行う（前半ショートヴァージョン、後期からはロングヴァージョンとなる）。ゼミ論報告ターンでは、報告者、討論者、座長を定め学会報告形式で報告を行う。年度末にゼミ論を提出。

3) 演習Ⅲ（4年生）

- ・ゼミ論をベースにした卒論内容を精査し、卒論の内容について報告を行う。報告形式は演習Ⅱと同じ。
- ・年度末に卒論を提出。

【参考：過去の卒論テーマ】

- ・「かわいい」の文化社会学的検討
- ・色彩固有感情が消費活動に及ぼす影響
- ・コロナ禍でのインフォデミックによる弊害～今後のインフォデミックへの対策～
- ・日本の空き家問題の検証
- ・「住みたいまち」を決める要素についての考察～機能性と情緒性～
- ・ジェンダーレスを服飾史から読み解く
- ・メディアのステレオタイプ表現が性別役割分業に与える影響についての一考察
- ・外見重視の社会がもたらす女性の美容投資への現状と課題
- ・家庭環境と機会格差の相関関係～社会参加と社会関係資本を軸に～

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

- ・演習Ⅰ:各自の研究テーマに沿ってレポート作成(3000字程度)。
- ・演習Ⅱ:各自の研究テーマに沿ってゼミ論文作成(12000～20000字程度)。
- ・演習Ⅲ・Ⅳ:各自の研究テーマに沿って卒業論文作成(20000～40000字程度)。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融、IT、教育、専門商社、広告代理店、旅行代理店、公務員等

(6) 教員について(自己紹介等)

文化社会学・家族社会学・ジェンダー論等を専門とし、これまで多くの大学で教鞭を執り研究活動を行う傍ら、現代詩人として中原中也賞、晩翠賞といった賞を受賞し、社会評論や経済評論以外にも、文芸評論、美術評論、歴史評論、さらにはゲーム評論など多様なジャンルの執筆活動をしています。出身は神奈川県相模原市の国道16号線沿いで、ロードサイド型の大型ショッピングセンターが建ち並ぶ現在の「日本の郊外」の走りのようなところで育ちました。チェーン店の居並ぶ均質化された風景を見て育ったためか、異なる文化集団や風土性に関心が高まり、学部生のころはバックパッカー

をやって、世界中をふらふら歩き回っていました。役立つと思わずやってきたことがほぼ軒並み評論の対象になってしまい、純粋な趣味を失いつつある今日このごろです。私は長年文章で食べてきたため、諸君には最低限、文章を読み書きする技能だけはしっかり指導させていただきたいと思っています。

(7) その他

今日の社会は、グローバル化が進展する中での地産地消など「ローカル」文化の再評価や、「ファスト」な消費市場が席巻する中でエシカル消費・ソーシャル消費など社会的意識の高まり、メディアの進展により変容する「身体」へのまなざし、家族やジェンダー規範の保守化と同時進行する LGBT 市場への期待など、一見矛盾する事態までもが並置されています。その負の側面も含め、高速で変化していく現代社会の様態を読み解くために、「文化」は大きな手がかりになります。それは公正さだけでは解消し得ない、人々の望ましさや欲望にも根ざしています。これらを学ぶことは、今日の社会を読み解く大きな武器になると考えておりますので、積極的な参加を歓迎いたします。



宮下 雄治ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	ビジネスデザイン(経営学科)
コンピュータと情報 I	基礎演習 B	政策デザイン(経済学科)

3年男	9人	3年女	19人	4年男	12人	4年女	12人
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(1) テーマ

「新時代のマーケティング」

いつの時代も世の中の変化やトレンドを味方につけたマーケティングが新たな商機を生み出します。宮下ゼミでは、マーケティングの伝統的な理論からAI・デジタルを駆使した新時代におけるマーケティングの新潮流やトピックスを研究します。

(2) キーワード

消費分析、消費者心理・行動、デジタル経済、広告、店舗デザイン、市場調査、顧客満足

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

・マーケティングの理論と実務を並行して学ぶ（インプット）とともに、学んだ内容を個人とグループ単位でアウトプットする機会を設けています。ここ数年は、学外のビジネスコンテストに全員が参加するとともに、広告コンテスト（キャッチコピーとCM）に参加しました。令和6年度は2つの外部コンテストに参加し、両コンテストともに複数チームが予選突破し、表彰されました。

・3年次は、マーケティング情報に特化した新聞「日経MJ（マーケティングジャーナル）」を全員が購読し、消費の最先端や企業動向を学びます（同新聞は週3日発行で月額2,800円）

・3年次は全員が「マーケティング検定」を受験します（上級資格2級の合格者も毎年います）。全員がマーケティング検定の取得を目指すとともに、専門紙の購読を通して最新のマーケティング事例を学びます。

・合宿はここ数年は行っていません

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

- 各自が一つの企業（店舗）を選び、店舗視察を通じた調査結果を発表

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

卒業生の主な就職先は、アクセンチュア、デロイトトーマス、カルビー、王子製紙、沖電気、カシオ計算機、プリンスホテル、三菱食品、伊藤忠食品、国分、三井食品、東京ディズニーランドホテル、テレビ朝日サービス、電通東日本、凸版印刷、星野リゾート、全日本空輸、富士ソフト、JA農協、中央物産、大成建設、東急建設、東海旅客鉄道（JR 東海）、セブン-イレブン・ジャパン、ファミリーマート、ローソン、イトーヨーカ堂、イオン、そごう・西武、マイナビ、住友林業、パナソニックコンシューマーマーケティング、サントリーマーケティング&コマース、京王プラザホテル、タリーズコーヒージャパン、パルタック、みずほ銀行、長野銀行、日本郵便、群馬県庁、越谷市役所、東京消防庁などとても幅広いです。

(6) 教員について(自己紹介等)

約10年間、広告会社と流通のシンクタンクでマーケティング実務に携わり、消費財メーカーのプロモーション立案と効果分析を仕事としてきました。

(7) その他

時間をかけなければ見えないこと、わからないこと、身につかないことがあります。ゼミ活動の毎回の積み重ねが力になりますので、ゼミには休まずに目標と向上心を持ち続けることができる方の応募をお待ちしています（短距離よりも長距離ランナーを求める）。



山本 健太ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	地域と都市の経済
コンピュータと情報 I	基礎演習 B	

3年男	7人	3年女	2人	4年男	8人	4年女	0人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

経済活動を「地域」という空間的枠組みの中で考える。

(2) キーワード

経済地理学，フィールドワーク，地域

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

論文の輪読による基礎的な思考法や手法の習得と、個人テーマに沿ったフィールドワークと報告書の作成を想定しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

2年次に論文踏査を始め、3年次には当該分野の研究動向についてレビュー報告（2000~4000字程度）を作成する。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

鉄道、建材、アパレル、保険会社、不動産関係など。対面接触のほか、輸送関係や地方を好む傾向があります。テレビ番組制作、ゲーム制作などのクリエイティブ系に就職したものもいます。

(6) 教員について(自己紹介等)

山本健太 検索

(7) その他

ゼミとは、単に勉強するところではなく、社会関係も学ぶ場であると考えています。このゼミに入るということは、私に弟子入りすることだと思ってください。

バイト、部活、サークルはゼミ欠席理由として認められません。ゼミでの活動を最優先事項として、他のゼミ生と協調し、積極的に参加してください。

吉野 真治ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習A	会計入門		経営入門	簿記の基礎
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習B			財務会計	

3年男	4人	3年女	0人
-----	----	-----	----

(1) テーマ

企業会計のルールとその基礎にある考え方について学びます。特に、会計というツールを用いて一連の企業活動を追体験することをつうじて、ビジネスに関する知識や思考力を養ってほしいと思います。

(2) キーワード

財務会計、国際会計、ディスクロージャー

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期～3年前期は、財務会計の基本書を輪読し、会計に関する基礎知識とディスカッションスキルを修得します。具体的には、グループ毎に担当箇所の報告を行い、実務上の論点や国際会計基準との主要な差異に関するディスカッションを行います。3年後期は、履修者毎に興味を持った論点（例えば、組織再編会計、リース会計、金融商品会計など）について、専門書や学術論文を参照しながら報告し、教員からのフィードバックを行います。4年次は、卒業論文の執筆および報告を行います。

なお、サマーセッションとして、ゼミ合宿と学内ゼミを実施する予定です。

(4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

他大学との合同ゼミの実施を予定しており、報告用のグループ論文を執筆します。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

開講初年度のため、就職に関するデータはありませんが、ゼミで修得したスキルを活用して、財務・会計に関する職種に限らず、自身の興味のある業種に就職してほしいと考えています。

(6) 教員について(自己紹介等)

令和7年度4月に國學院大學に着任しました。教職に就く前は、公認会計士として財務諸表監査やコンサルティング等の業務に従事していました。趣味は釣りとスノーボードですが、最近は子供が在籍する少年サッカーチームの指導で休日の予定が埋まってしまい、なかなか海にも山にも行けません。

(7) その他

公認会計士試験や税理士試験等の国家試験の合格を目指す学生は、個別にアドバイスを行いますので、気軽に相談してください。

『令和8年（2026年）度開講「演習Ⅱ」（ゼミ）募集要項』

國學院大學 経済学部教務委員会

WEBでもCHECK!

國學院大學経済学部

検索

